
年 報

第42号 令和6年度

八 戸 市 博 物 館
八 戸 市 史 跡 根 城 の 広 場
八 戸 市 南 郷 歴 史 民 俗 資 料 館

目 次

八戸市博物館の基本理念 1

第一部 八戸市博物館

I 施設のあらまし 2

II 展示 3

1. 常設展
2. 特別展・企画展
3. 特別展開催歴一覧

III 教育普及 16

1. 小中学校等団体利用状況
2. その他学校等団体利用状況
3. 出前授業
4. 浜小屋学習
5. 講師等派遣
6. 催事運営
7. その他の教育普及活動
8. 広報・出版活動

IV 資料管理 26

1. 部門別収蔵資料点数
2. 令和6年度寄贈資料
3. 所蔵資料指定文化財一覧
4. 収蔵資料保存修理と活用
5. 保存環境の維持管理
6. 資料の利用状況

V 調査研究 35

1. 調査実績
2. 職員の調査研究活動

VI 博物館展示等リニューアル事業 39

1. 事業概要
2. コンセプト
3. リニューアル内容
4. 事業スケジュール
5. 改修検討会議
6. 完成予想図

第二部 史跡根城の広場

I 施設のあらまし 42

II 展示 42

1. 常設展

III 教育普及 43

1. 小中学校等団体利用状況
2. 指定管理者自主事業
3. その他の教育普及活動

IV 資料管理 49

1. 保存修理

V 根城史跡ボランティア 54

1. 概要
2. 根城史跡ボランティアガイド養成講座

第三部 南郷歴史民俗資料館

I 施設のあらまし 55

II 展示 55

1. 常設展
2. 特別展・企画展

III 教育普及 59

1. 小中学校等団体利用状況
2. 出前授業
3. 講師等派遣
4. 催事運営

IV 資料管理 60

1. 部門別資料点数
2. 寄贈資料
3. 資料の利用状況

V 調査研究 61

1. 調査実績
2. 職員の調査研究活動

第四部 運営・資料

I 運営 62

1. 博物館組織及び職員構成
2. 博物館協議会
3. 予算の概要

II 資料 65

1. 入館者利用状況
2. 条例等

令和 6 年度年報発行にあたって

八戸市博物館は、「よみがえる歴史 ひらけゆく未来」をメインテーマに、考古・歴史・民俗の3分野から構成される人文系博物館です。昭和 58 年の開館以来、分野ごとに八戸の郷土史を研究し、理解を深め、発信する事業に取り組み続け、令和 6 年度には開館 40 周年を迎えることができました。その一方で、館内設備と常設展示のリニューアル工事に着手するため、当館は令和 7 年 10 月から休館に入ります。

令和 6 年度は、休館前の最後の特別展として、夏季に「きらめく八戸 -写真・新聞で見る昭和 40 年代-」を、秋季に「境界線上の彼女たち -ねね・鶴姫・南部麻-」を開催しました。夏季特別展は、高度経済成長期の八戸の様子を当時の写真や新聞から紹介し、秋季特別展は、時代の過渡期に重要な役割を果たした南部家の 3 人の女性を取り上げたものです。八戸の郷土史における節目に注目したこれらの展覧会は、市内外の来館者から好評を博しました。

年間約 22,000 人の来場者があった史跡根城の広場は、北東北の中世城館を体感できる全国的にも類を見ない歴史公園です。令和 6 年度も「さくらWeeK!」、「史跡根城まつり」、「根城おもしろ講座」といった各種イベントの開催を通じて、根城跡の素晴らしさを発信しました。また、令和 2 年度から始まった史跡根城跡第 2 次整備事業は、現在主に行っている防災設備の改修から、この先は領主の儀礼空間「主殿」の改修へと移り、事業が本格化してまいります。

南郷歴史民俗資料館では、特別展「こけし -みんななかよし-」を開催し、東北地方の郷土玩具「こけし」の歴史と系統を紹介しつつ、その魅力について発信しました。また、ミニコレクション展では、南郷地区の特産品である「そば」を取り上げ、栽培と調理に関する道具やパネルなどを展示し、南郷とそばの深い関わりを紹介しました。

最後に、当館の博物館活動の推進にあたり、御指導、御鞭撻を頂いております関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後数年かけて行うリニューアルによって、より良い博物館となるよう努めてまいります。

令和 7 年 6 月

八戸市博物館長

小保内 裕之

八戸市博物館の基本理念

●八戸市博物館基本理念（昭和58年7月策定）

八戸の風土から生まれ、先人達を守り育ててきた貴重な文化遺産を通じて、豊かな明日を考える。

●八戸市博物館運営基本方針（平成24年7月策定）

1. 郷土の歴史や文化を示す資料を収集・保存し、後世に伝えます。（コレクションポリシー）
2. 魅力的な展示を通して、郷土の歴史や文化を紹介します。
3. 地域の文化を調査・研究し、その成果を郷土の歴史や文化の理解に役立てます。
4. 市民や学校と連携し、郷土の歴史や文化を楽しく学べる教育の機会を提供します。
5. 博物館活動を広く発信し、身近な博物館を目指します。

第一部 八戸市博物館

I 施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和 54 年 4 月 博物館建設調査費計上
昭和 55 年 5 月 博物館建設基本構想策定委員会
(15 名)設置
第 1 回会議 市長諮問
昭和 56 年 3 月 第 7 回会議(最終会議)
4 月 博物館建設予定地発掘調査
5 月 博物館建設用地決定
7 月 建築・展示実施設計完成
9 月 博物館建設地発掘調査終了
建設工事着手
昭和 57 年 9 月 建設工事完成
博物館駐車場予定地発掘調査
10 月 同上調査終了
昭和 58 年 3 月 展示工事完成
八戸市博物館条例制定
4 月 八戸市博物館協議会設置
第 1 回会議
6 月 外構工事完成
7 月 15 日 開館
開館記念特別展「南部武士展」
開催

【施設概要】

1. 規 模 敷 地 面 積 7,725.00 m²
建 築 面 積 2,073.16 m²
展 示 室 面 積 738.24 m²
教育普及設備 224.88 m²
収 蔵 庫 面 積 819.09 m²
延 床 面 積 3,767.49 m²
2. 構 造 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上 2 階 塔屋 1 階
3. 建物設計 株式会社石本建築事務所
4. 建築工事 穂積建設工業株式会社
5. 展示設計 株式会社トータルメディア
・施 工 開発研究所
6. 建 設 費 1,501,252 千円
設 計 費 32,800 千円
本体建築費 694,000 千円
設備工事費 285,150 千円
外構工事費 84,520 千円
展示設計費 8,250 千円
展示工事費 102,900 千円
そ の 他 293,632 千円



Ⅱ. 展示

1. 常設展

【考古展示室】

八戸及び八戸周辺から発見された縄文、古代、中世の出土品を展示。縄文時代では土器や貝塚、狩猟や漁撈などの生活道具、装身具などで人びとの暮らしを辿る。古代では、飛鳥時代から平安時代の集落や末期古墳群の出土品を通して、蝦夷と呼ばれた人びとの暮らしを紹介。中世では、八戸発祥の地といわれる史跡根城跡の出土品から当時の地方領主の暮らしを探る。また、「じょうもんの部屋」ではコレクション展示のほか、縄文時代の土器や貝類に触れる体験ができる。



◎展示構成

縄文時代…380点 弥生時代…8点 古代…69点 中世…91点

◎主な展示資料

国重文：「丹後平古墳群出土品」「櫛引遺跡出土品」「薬師前遺跡墓坑出土品」（五戸町所管）
県重宝：「縄文式板状土偶」「縄文式土器」ほか
その他：「長七谷地貝塚出土品」「根城跡出土品」

【歴史展示室】

現在の八戸の基礎となった八戸藩二万石の誕生から明治維新までを、藩主ゆかりの資料や市内旧家に伝わる古文書などで紹介。八戸地方の歴史と産業が江戸を中心とする全国 of 政治経済とどのように関連し歩んできたか、八戸港の発達の様子や、近年まで常に当地方を脅かし続けた凶作・飢饉の様子とその原因を紹介。



◎展示構成

八戸藩誕生…8点 八戸城…22点 八戸の産業…22点 飢饉と百姓一揆…16点
郷土の先人たち…4点 今淵コレクション…16点 近代の幕開け…2点

◎主な展示資料

「八戸南部家譜」「毘沙門天像(県重宝)」「伏縄目胴丸具足」「八戸城新御殿復元模型」
「八戸藩藩札」「農耕絵馬」「飢饉卯辰築(複製)」「御九代集写」「八戸城図(写)」
「今淵コレクション」

【民俗展示室】

衣食住や農業・漁業などの生業、信仰の資料で、厳しい風土の中を生きてきた八戸の人びとの生活を紹介。また「昭和の暮らし」のコーナーでは、季節に応じた資料を展示している。



◎展示構成

いろいろを囲んで…63点 海に生きる…31点

田畑を耕す…20点 町の商い…23点

祈るころ…37点 昭和の暮らし…43点

◎主な展示資料

国重有民：「八戸及び周辺地域の漁撈用具」

市有民：「神功皇后と武之内宿禰(人形、飾り幕)」

その他：「えんぶりのマネキン」「南部菱刺し」「南部小絵馬」

【無形資料展示室】

八戸に伝わる民謡、昔話、わらべ唄、方言、祭り、芸能、八戸の観光、市内学校の校歌を、映像と共に音声を視聴できる。

◎八戸地方の民謡

南部あいや節、南部追分、おしまこ、八戸小唄、南部俵づみ唄など12曲

◎八戸地方の昔話

猿と蟹の話、かくれ里の話、せんだん栗毛、すねこたんぽこ、からやぎの話など15話

◎八戸地方のわらべ唄

だまこ(お手玉唄)、大波小波(縄跳び唄)、いしきりますか(じゃんけん唄)など12曲

◎八戸地方の方言

浜での会話、夕方のだんらん、親子のかたらい、魚菜市場での会話、商家での会話など12話

◎八戸の祭り・芸能、◎八戸の観光、◎校歌



【常設展の展示替え及び展示コーナー】

長期間の展示による資料の劣化防止などの目的から、随時展示替えを行っている。

No.	担当	展示場所	種別	テーマ	展示資料	期日
1	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	昭和の暮らし	カラーテレビ	4.30~

2	歴史	無形資料展示室前廊下	ミニ企画	よろ・ふ	鎧、刊本など7点	5.1～3.30
3	考古 (市川)	考古展示室	展示替え	重要文化財「丹後平古墳群出土品」	金装獅噛三累環頭大刀柄頭1点、玉類1件	5.22～
4	考古 (高橋)	考古展示室	展示替え	田面木平遺跡出土品 丹後谷地遺跡出土品	深鉢形土器、注口土器	8.30～
5	考古 (市川)	考古展示室	展示替え	重要文化財「丹後平古墳群出土品」	蕨手刀1点、玉類1点、須恵器1点	9.22～
6	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	えんぶり	えんぶりのマネキン	10.8～
7	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	衣服	三巾前掛け、南部菱刺し見本	10.8～
8	歴史	体験学習室前廊下	ミニ企画	西町屋さんの「何だコレ？」	西町屋資料16点	10.29～1.19
9	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	衣服	南部菱刺し2点	11.14～3.4
10	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	昭和のくらし	足踏みミシン	11.14～
11	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	衣服	さしこ綴れ	12.27～
12	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	昭和のくらし	中心街地図2点	12.27～
13	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	田畑を耕す	唐箕	2.26～
14	民俗 (小林)	民俗展示室	展示替え	衣服	南部菱刺し2点	3.4～
15	歴史	体験学習室前廊下	ミニ企画	銭貨・私鑄銭	菅原秀幸氏収集資料ほか	1.20～3.30

2. 特別展・企画展

第108回特別展 「きらめく八戸ー写真・新聞で見る昭和40年代 -」

期 間	7月20日(土)～9月16日(月・祝)		
入館者数	5,160人／54日(96人／日)		
展示資料数	76点		
印刷物	ポスター(B2判/カラー)	500枚	
	リーフレット(A4判/カラー)	40,000枚	
	招待券(7.0×19.0cm/片面カラー)	1,300枚	
刊行物等	図録「なつかしの八戸Ⅲーきらめく八戸ー」 (A4横/白黒/本文100p) 500部		
協力機関	株式会社デーリー東北新聞社、八戸工業大学		



当館開館40周年を記念し、写真パネルと新聞記事からみた昭和40年代の八戸を紹介した。八戸の40年代は、水揚げ高3年連続日本一、大規模工場の操業開始、大型商業施設の出店など好景気に沸き、活力ある時代だった。写真家の和井田登氏が撮影した中心街や漁港、工業地帯などの写真や、デパート開店の広告記事などを展示。当時を知る人はとても懐かしむ一方で、若年層の方がたはかつての八戸の勢いに驚いていた。



展示風景



はちのへ写真館

八戸工業大学との共同研究で開発した「はちのへ写真館」では、昔の写真に入り込み、合成写真をプリントできる

本展のアンケートでは、50年代、60年代の八戸の様子も知りたいとの感想も頂いた。また、高齢者施設へリーフレットを直接送付したり、届けたりした成果で、施設の利用も多かった。

併催行事では、八戸出身のタレント十日市秀悦氏と、八戸地域社会研究会会長高橋俊行氏を迎え、講演会を開催した。なお本展は、開館から40年余り当館の運営に尽力した前館長・古里淳が担当した（令和6年度末退職）。

◎展示構成

中心商店街、八戸児童遊園地、長根スケートリンク、漁業、工業、体験型デジタルコンテンツ（中心街写真館・中心街今昔）

◎特別展併催行事

①講演会「昭和40年代は熱かった

ー人も町もアッタラゴドモー」

日 時 7月21日(日) 13:30～15:00

講 師 タレント 十日市秀悦氏

会 場 八戸市総合福祉会館

参加者 229人



十日市秀悦氏の講演会

②講演会「モノクロからカラー時代の幕開け

ー昭和40年代の八戸市民の暮らしと経済ー」

日 時 8月18日(日)13:30～15:00

講 師 八戸地域社会研究会

会長 高橋 俊行 氏



高橋俊行氏の講演会

会 場 博物館 体験学習室

参加者 41人

③ギャラリートーク

日 時 7月20日(土)・8月11日(日) 各日10:00～

講 師 当館学芸員

参加者 17人

第109回特別展 「境界線上の彼女たちーねね・鶴姫・南部麻ー」

期 間 10月5日(土)～11月24日(日) 45日間

入館者数 4,419人／45日(98人／日)

展示資料数 123点

印刷物 ポスター(B2判/カラー) 600枚

リーフレット(A4判/両面カラー) 50,000枚

招待券(7×19cm/カラー) 1,000枚

刊行物等 特別展図録(A5判/カラー) 500部

協力機関 一戸町教育委員会、岩手県立図書館、
光龍寺、株式会社集英社、遠野市、遠野市立
博物館、南宗寺、新田城まつり実行委員会、
もりおか歴史文化館、安田勝寿コレクション、
八戸市立図書館



本展では、八戸が歩んできた歴史の分岐点にあって、大きな役割を果たしてきた3人の女性、根城南部家当主・ねね（清心尼）、八戸藩最後の藩主正室・鶴姫、八戸南部家当主・麻（麻姫／麻子）に着目した。不安定な時世に家名を背負った彼女たちは、どのように生き、何を残したのか。数少ない関係資料を手掛かりに、それぞれの時代背景を踏まえながら、彼女たちの実像を紹介した。



展示風景

併催行事では、外部講師を招聘しての講演会、武家の女性が身に着けた武芸であるなぎなたの体験学習を行い、座学と体験を通して当時の女性について学ぶ機会とした。また、若い年齢層にも興味を持ってもらえるよう子ども向けのキャラクターショーを開催し、好評を得た。

◎展示構成

- 序 歴史に描かれる彼女たち
一 根城南部家当主・ねね
二 最後の藩主正室・鶴姫
三 八戸南部家当主・麻
結 彼女たちが繋いだ「八戸」

◎特別展併催行事

(1) 特別展講演会

①「中世女性のワードローブ

ー衣服から髪型、きこなしまでー」

日 時 10月27日(日) 13:30～15:30

講 師 立正大学文学部

教授 佐多 芳彦 氏

会 場 博物館 講義室

参加者 46人

②「武家の相続と女性

ーねね・鶴姫・南部麻が担った役割ー」

日 時 11月16日(土) 13:30～15:30

講 師 東北学院大学 東北文化研究所

特別研究員 菊池 慶子 氏

会 場 博物館 講義室

参加者 72人

(2) ギャラリートーク

日 時 10月13日(日)、11月4日(月・振休)

各日10:00～

講 師 学芸員

参加者 延べ24人

(3) 体験学習会

日 時 10月14日(月・祝)、11月2日(土)

各日10:00～

講 師 青森県なぎなた連盟八戸支部

参加者 延べ35人



特別展講演会



ギャラリートーク



体験学習会

(4) 館外フィールドワーク

日 時 11月9日(土)
9:00~12:00

講 師 学芸員

参加者 延べ14人



館外フィールドワーク

(5) 根城SHOW TIME

①キャラクターショー

「わんだふるぷりきゅあ！」

②中世庶民の戦国ファッションショー

③オリジナルグッズ抽選会

日 時 10月19日(土)

会 場 はちふくプラザ根城 (雨天開催)

参加者 延べ305人



根城 SHOW TIME (オリジナルグッズ抽選会)

企画展「新収蔵資料展－Ⅰ期・民俗－」

期 間 4月13日(土)～5月19日(日)

入館者数 2,385人／33日(72人／日)

展示資料数 159点

前年度に当館が寄贈を受けた収蔵資料を紹介する展示。令和5年度の寄贈資料が多かったことや、民俗資料と歴史資料とで保全に必要な温湿度設定が異なることなどから、本企画として初めて二期構成とした。

I期の民俗資料では、種差集落のオシラサマ、菱刺し作家西野こよ氏(故人)の作品やコレクション、三八上北地方の寺社仏閣の設計施工を手掛けた宮大工、三浦堅作氏寄贈の宮大工道具及び工匠用具、引札をはじめとする商家の資料などを展示した。

アンケートでは、資料の背景にある生活や習俗に関心を向ける意見が寄せられた。



宮大工の儀式用装束

企画展「新収蔵資料展－Ⅱ期・歴史－」

期 間 6月1日(土)～7月7日(日)

入館者数 1,405人／34日(41人／日)

展示資料数 253点

Ⅱ期では、考古・歴史分野の新収蔵資料を紹介した。考古資料では、市内個人採集の縄文土器や小久慈焼など、計133点を展示した。

歴史資料では、県重宝に指定されている「菊牡丹唐草轡十字文蒔絵漆器」「唐草南部南部鶴紋蒔絵漆器」「南部南部鶴紋蒔絵漆器」の婚礼調度品や、市指定有形文化財の「鬼瓦」をはじめ、計120点展示した。

また会期中は、ギャラリートークを計4回開催し、延べ28人の参加者があった。



県重宝「南部鶴紋蒔絵漆器」ほか

ミニパネル展「八戸の災害－災害と供養－」

期 間 9月1日(日)～9月29日(日)

入館者数 2,550人／27日(94人／日)

展示資料数 16点

平成25年から、災害を忘れず教訓を活かすため、八戸を襲った災害についての展示を開催している。

令和6年度は「災害と供養」をテーマに、八戸市内に建立された飢饉や疫病、津波に関する供養塔を写真と地図で紹介した。



寛延飢饉(猪ヶガジ)のパネル

新春ミニ企画「えと展－へび－」

期 間 12月7日(土)～1月13日(月)

入館者数 772人／26日(30人／日)

展示資料数 63点

収蔵資料の中から、令和7年の干支である「へび」に関する資料を紹介した。また、十干十二支や暦に関する資料についても併せて展示した。

併催イベントとして、休館日の館内をぬいぐるみが探検する「へび限定！ぬいぐるみおとまり会」を実施した。令和2年度のえと展より毎年実施し、今回で5回目となった。



企画展「えんぶり展」

期 間 1月25日(土)～3月2日(日)
入館者数 1,924人／33日(58人／日)
展示資料数 148点

えんぶりは、年の初めに豊作を祈願して演じられる田植踊で、なかでも八戸及び周辺地域のえんぶりは、国重要無形民俗文化財に指定されている。当地域を代表する民俗芸能であるえんぶりへの理解を深める機会とするため、毎年開催している。

従来は「ひな人形展」と同時開催だったが、円滑な展示作業を図るため、時期をずらして開催した。令和6年度は、近年の調査成果を踏まえ、えんぶり組が地区の相互扶助の要として機能していたことや、明治から昭和にかけての烏帽子の変遷を紹介した。また、来館者の要望を踏まえ、各組の演目表や位置図を用意するなどして、分かりやすい展示を心掛けた。



明治から昭和の烏帽子 25 点を展示

◎展示構成

- ① 導入展示
- ② えんぶりの日程 - 宿開きから摺り納めまで -
- ③ 摺りと太夫
- ④ ナガえんぶりとドウサイえんぶり
- ⑤ 烏帽子のうつり変わり
- ⑥ 多彩な祝福芸
- ⑦ 門付けと組の運営
- ⑧ えんぶりをつなぐ
- ⑨ 映像上映



えんぶりの規則「豊年祭参加の心得」と口上

◎企画展併催行事

①講座「えんぶりの見方入門」

日 時 2月8日(土)13:30～
講 師 当館学芸員
参加者 11人

②ギャラリートーク

日 時 2月18日(火)・19日(水) 各日13:30～
講 師 当館学芸員
参加者 20人

企画展「ひな人形展」

期 間 2月15日(土)～3月23日(日)

入館者数 2,110人／33日(64人／日)

展示資料数 83点

当館は、八戸の商家に伝えられた享保雛、昭和期の古今雛のほか、日本各地の郷土雛・郷土人形を多数収蔵しており、本展では、それらの人形を紹介している。特に郷土雛・郷土人形は、毎年テーマを変えて展示を行っている。

今回は、東北地方で親しまれてきた各地域の土人形のほか、関連資料として江戸時代の打掛や、ひな人形が身に着けている道具を展示した。

また、例年通り、3月3日にはギャラリートークを行い、6人の参加者があった。



展示風景

3. 特別展開催歴一覧

回	年度	名 称	分野	入館者数	期 間	日数	人/日
1	昭和58	南部武士展	歴史	14,672	7月15日～8月14日	28日	524
2	昭和58	えんぶり～豊作への祈り～	民俗	2,213	1月20日～2月21日	28日	79
3	昭和59	～八戸の南画家～雪焦	歴史	6,725	4月25日～6月10日	41日	164
4	昭和59	土偶～縄文人の祈り～	考古	8,158	7月29日～9月24日	75日	108
5	昭和59	学秀仏～ふるさとの仏像～	民俗	3,682	10月20日～12月9日	41日	89
6	昭和59	縄文の美～是川中居遺跡～	考古	2,150	1月10日～2月27日	40日	53
7	昭和59	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,926	3月10日～4月10日	25日	77
8	昭和60	津要和尚～足跡と作品～	民俗	5,399	4月27日～6月9日	35日	154
9	昭和60	東日本の小絵馬～ねがいと祈りの板絵～	民俗	5,383	7月28日～9月23日	49日	109
10	昭和60	縄文時代の馬淵川	考古	2,889	10月10日～12月8日	49日	58
11	昭和60	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,494	3月16日～4月13日	24日	62
12	昭和61	海のくらしと道具	民俗	4,506	4月27日～6月9日	33日	136
13	昭和61	東北の土人形	民俗	5,325	7月27日～9月23日	50日	106
14	昭和61	弥生時代～米づくりの始まる頃～	考古	3,072	10月10日～12月9日	49日	62
15	昭和61	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,162	3月15日～4月12日	24日	48

16	昭和62	奥州道中と参勤交代	歴史	4,692	4月29日～6月7日	32日	146
17	昭和62	南部馬と人々の暮らし	民俗	5,876	7月26日～9月15日	44日	133
18	昭和62	青森県の貝塚	考古	1,992	10月10日～11月29日	25日	79
19	昭和62	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,002	3月13日～4月10日	22日	45
20	昭和63	市内神社仏閣秘宝展	歴史	3,881	4月29日～6月5日	28日	138
21	昭和63	縄文の漆工芸	考古	3,171	7月31日～9月4日	30日	105
22	昭和63	郷土刀剣展～八戸藩刀工の系譜～	歴史	2,574	10月9日～11月6日	24日	107
23	昭和63	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,002	3月13日～4月10日	22日	45
24	平成元	八戸俳諧のあゆみ	歴史	3,770	4月29日～6月4日	31日	121
25	平成元	いにしえの東日本～古墳文化をさぐる～	考古	4,270	7月30日～9月3日	30日	142
26	平成元	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,106	3月11日～4月8日	22日	48
27	平成2	ひしざし展～南部女性の美～	民俗	3,460	4月28日～5月27日	25日	138
28	平成2	縄文人の世界～縄文後期の生活と文化～	考古	3,374	7月28日～9月2日	30日	112
29	平成2	八戸城下町～城と人びと～	歴史	2,980	10月10日～11月25日	37日	80
30	平成2	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,140	3月10日～4月7日	24日	47
31	平成3	描かれた役者たち～松尾コレクション～	歴史	3,766	4月28日～6月2日	30日	125
32	平成3	八戸の古代～むらの人びとの暮らし～	考古	4,329	7月28日～9月2日	29日	149
33	平成3	なつかしの八戸～和井田登寄贈作品より～	民俗	3,702	10月10日～11月17日	32日	115
34	平成3	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	542	3月15日～4月5日	18日	30
35	平成4	縄文の美・是川	考古	4,183	4月26日～5月31日	30日	139
36	平成4	八戸のイカ釣り～イカの街のルーツを探る～	民俗	3,909	7月26日～9月6日	37日	105
37	平成4	音喜多コレクション	考古	2,220	10月10日～11月15日	30日	74
38	平成4	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	542	3月14日～4月4日	19日	28
39	平成5	伝統の美～ふるさとの文化財～	歴史	4,349	7月14日～8月22日	34日	127
40	平成5	ワラと人々の暮らし	民俗	2,686	10月3日～11月7日	30日	89
41	平成5	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,236	3月13日～4月17日	30日	41
42	平成6	ミニチュアでみる世界の台所	その他	6,087	4月29日～6月5日	30日	202
43	平成6	八戸の漁撈用具	民俗	2,995	7月24日～9月4日	37日	80

44	平成6	中世の風景～よみがえる根城～	考古	7,611	9月25日～11月 6日	35日	217
45	平成6	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,050	3月12日～ 4月 9日	23日	45
46	平成7	八戸の民芸	民俗	4,121	4月29日～ 6月 4日	30日	137
47	平成7	武人たちの魂～八戸をめぐる南部氏たち～	歴史	6,386	7月23日～ 9月 3日	37日	172
48	平成7	新発見考古速報展	考古	7,496	9月23日～10月15日	18日	416
49	平成7	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	751	3月17日～ 4月 7日	18日	41
50	平成8	マヤ文明の遺産展	その他	13,015	4月28日～ 6月 2日	30日	433
51	平成8	昭和30・40年頃の暮らしと遊び	民俗	8,496	7月20日～ 8月25日	32日	265
52	平成8	先人たちの足跡～八戸を掘る～	考古	2,535	10月5日～11月10日	30日	84
53	平成8	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	4,202	3月16日～ 6月 1日	62日	67
54	平成9	風張遺跡の縄文社会	考古	3,529	7月20日～ 8月24日	31日	113
55	平成9	今測コレクション～正太郎・せつ夫妻の世界～	歴史	6,118	9月20日～11月 3日	35日	174
56	平成10	子どもの文化史～産育・教育・玩具～	民俗	6,457	7月19日～ 8月23日	32日	201
57	平成10	武者絵の中の英雄たち	歴史	4,391	9月20日～11月 3日	37日	118
58	平成11	青い目の人形～人形から見た昭和の暮らし～	民俗	6,222	7月18日～ 8月29日	37日	168
59	平成11	草原の国モンゴル～遊牧民の暮らしと歴史・文化～	その他	5,432	9月25日～11月 7日	37日	146
60	平成12	日本名刀展～その1000年のながれ平安時代から現代まで～	歴史	5,327	7月16日～ 8月27日	36日	147
61	平成12	宮廷衣装展～梨本宮家と皇族妃衣装～	その他	9,518	9月23日～11月 5日	38日	250
62	平成13	八戸藩～大名の江戸と国元～	歴史	6,683	7月15日～ 8月26日	37日	180
63	平成13	切手～ニッポンをふりかえる～	歴史	7,990	9月23日～11月 4日	37日	215
64	平成14	トイレ今昔～世界と日本のかわや事情～	その他	8,208	7月14日～ 8月25日	37日	221
65	平成14	江戸からくり人形展～よみがえるテクノロジー～	歴史	9,637	9月22日～11月 4日	39日	247
66	平成15	八戸の俳諧	歴史	3,910	5月11日～ 6月 8日	39日	100
67	平成15	大相撲展～八戸市博物館場所～	民俗	6,543	7月12日～ 8月24日	39日	167
68	平成16	樺太アイヌ民俗誌～工芸に見る技と匠～	その他	4,893	7月17日～ 8月29日	39日	125
69	平成16	南部氏と根城	歴史	6,237	9月25日～11月 7日	39日	159
70	平成17	戦争と八戸市民～苦難とともに～	歴史	6,047	7月 9日～ 8月21日	39日	155
71	平成17	忍者展	歴史	12,185	9月23日～11月 6日	39日	312

72	平成18	吉田初三郎と八戸	歴史	6,098	7月15日～8月20日	34日	179
73	平成18	美女は生まれる～江戸美人の化粧術～	歴史	4,119	9月23日～11月5日	39日	105
74	平成19	江戸 妖怪物語	歴史	13,735	7月21日～8月26日	33日	416
75	平成19	鉄道展～地域を拓いて線路は続く～	歴史／民俗	8,961	9月22日～11月4日	39日	229
76	平成20	学校に行こう～八戸の近代教育～	歴史	4,619	7月19日～8月24日	33日	139
77	平成20	はちのへのお寺さん	歴史	6,505	8月24日～9月20日	33日	166
78	平成21	土偶展～東北の北と南～	考古	11,345	6月13日～7月26日	38日	298
79	平成21	八戸のみなと	歴史	5,177	9月19日～11月8日	47日	110
80	平成22	八戸三社大祭展	歴史/民俗	4,000	7月17日～8月29日	39日	102
81	平成22	お酒の文化史	民俗	4,874	9月18日～11月7日	45日	108
82	平成23	昭和の暮らし	民俗	4,129	7月9日～8月21日	44日	93
83	平成23	昭和の家族～絆・きずな～	民俗	5,019	11月5日～12月18日	39日	128
84	平成24	縄文人の一生	考古	3,360	8月8日～9月17日	38日	88
85	平成24	災害と八戸	歴史/民俗	3,730	10月13日～11月25日	39日	95
86	平成25	世界の鳥のおもちゃ	その他	3,783	7月6日～8月25日	46日	82
87	平成25	三陸～豊かな海の歴史と民俗～	歴史／民俗	3,593	9月28日～11月10日	39日	92
88	平成26	八戸と9人の藩主	歴史	5,608	7月5日～8月24日	47日	119
89	平成26	幕末明治の浮世絵探訪展	その他	4,016	9月27日～11月3日	34日	118
90	平成27	かつて戦争の時代に～記憶を継承するために～	歴史	3,479	7月11日～8月30日	45日	77
91	平成27	八戸フード記～自然・人・食～	民俗	4,160	10月3日～11月15日	39日	106
92	平成28	かっぱ展	民俗	5,420	7月16日～8月21日	33日	164
93	平成28	根城のお殿様の手紙	歴史	2,637	10月8日～11月13日	32日	82
94	平成29	キレモノ～八戸市博物館所蔵刀剣資料展～	歴史	4,765	7月8日～8月27日	47日	101
95	平成29	米～育てる・食べる・祈る～	考古/歴史/民俗	3,048	10月7日～11月12日	33日	92
96	平成30	エジソンの発明品展	その他	3,652	7月21日～8月26日	34日	107
97	平成30	丹後平古墳群と蝦夷の世界	考古	3,132	10月6日～11月4日	26日	120
98	令和元	八戸90年の歩み	歴史/民俗	4,337	7月13日～8月25日	40日	108
99	令和元	クマと生きる～資料でたどる人と熊～	考古/歴史/民俗	4,706	10月5日～11月17日	38日	123

100	令和2	飢渴の郷土史～八戸ケガジ録～	歴史	2,588	7月4日～8月23日	46日	56
101	令和2	暮らしの中の手仕事	民俗	3,495	10月3日～11月23日	46日	75
102	令和3	乱世の終焉～根城南部氏と城～	考古/歴史	2,812	7月10日～8月29日	45日	62
103	令和3	今般廃藩之儀～最後の藩主・南部信順～	歴史	4,240	10月8日～11月23日	46日	92
104	令和4	ナゲモノ拾いから始まった～ハマの民俗と文化財～	民俗	2,079	7月9日～8月28日	45日	46
105	令和4	透明なうたかた ～ガラスびんに映った近現代～	考古/歴史/民俗	3,057	10月8日～11月23日	39日	78
106	令和5	業良キ物～日本刀の歴史と八戸の刀工～	歴史	5,072	7月8日～8月27日	47日	108
107	令和5	J-mode 縄文の流儀	考古	3,797	10月7日～11月26日	44日	86
108	令和6	きらめく八戸-写真・新聞で見る昭和40年代-	民俗	5,160	7月20日～9月16日	54日	96
109	令和6	境界線上の彼女たち-ねね・鶴姫・南部麻-	歴史	4,419	10月5日～11月24日	45日	98

Ⅲ. 教育普及

1. 小中学校等団体利用状況(引率者の人数を除く)

当館では、学校の希望に合わせ、学芸員による展示解説や体験学習などを行っている。

体験学習では、火縄銃や日本刀、古銭などの歴史資料に触れる「歴史資料ハンズオン」、石臼挽きや天秤棒を使った水汲み体験などを行う「昔の暮らし」を主に行っている。

令和6年度は、延べ43校1,586人が利用した。中学校の利用が増え、昨年度に比べ12校545人増加した。



展示解説



体験学習「昔の暮らし」

No.	来館日	学校・学年	人数	内容	職員
1	4.26	八戸市立島守小5、6年	11	展示解説	市川
2	5.2	八戸市立長者小5、6年	132	展示解説	小林・高橋

3	5.2	八戸市立長者小3年	68	解説・体験	野沢・小林・山野
4	5.17	八戸市立第二中1年	102	展示見学	市川・野沢・小林・高橋
5	5.29	八戸市立小中野中1年	15	展示解説等	山野
6	6.28	田子町立田子小6年	21	解説・体験	野沢・山野
7	7.17	階上町立石鉢小6年	36	解説・体験	野沢・山野
8	7.17	八戸工業大学第二高等学校附属中1～3年	40	解説・体験	野沢・山野
9	9.5	八戸市立第三中2年	4	展示解説等	山野
10	9.5	八戸市立大館中2年	13	展示解説等	山野
11	9.6	八戸市立江陽中1年	6	自由見学	
12	9.13	岩手県立盛岡みたけ支援学校二戸分教室小学6年	4	自由見学	
13	9.14	青森県立八戸聾学校中学部3年	2	自由見学	
14	9.19	八戸市立桔梗野小3年	41	解説・体験	古里・市川
15	9.20	八戸市立鮫小3、4年	79	解説・体験	小林・山野・高橋
16	9.28	八戸市立柏崎小6年	87	解説・体験	市川・山野・高橋
17	10.2	八戸市立明治中1年	4	自由見学	
18	10.17	五戸町立上市川小6年	15	解説・体験	山野
19	10.18	五戸町立上市川小3、4年	24	解説・体験	山野
20	10.22	八戸市立八戸小3年	41	解説・体験	野沢・小林・山野
21	10.25	八戸市立大久喜小3、4、6年	4	解説・体験	山野
22	10.25	八戸市立旭ヶ丘小3年	54	解説・体験	古里・野沢・山野
23	10.30	階上町立道仏小6年	15	解説・体験	山野
24	11.1	八戸市立白銀南小3年	67	解説・体験	古里・小林・野沢・高橋
25	11.7	八戸市立長者中1年	20	自由見学	
26	11.8	南部町立福地小3年	36	解説・体験	古里・小林・高橋
27	11.18	三沢市立三沢小6年	64	解説・体験	山野
28	11.12	八戸市立白鷗小3年	46	解説・体験	古里・野沢・山野
29	11.16	東北町立上北小	28	自由見学	
30	11.21	八戸市立市川中1年	34	解説・体験	古里・野沢・小林・高橋
31	11.22	八戸市立桔梗野小5年	4	展示解説	古里
32	11.22	階上町立赤保内小5年	34	展示解説	野沢
33	11.26	八戸市立根城中1年	11	展示解説	高橋
34	11.29	八戸市立根岸小3年	52	解説・体験	古里・山野
35	12.3	八戸市立白銀小6年	23	解説・体験	野沢
36	12.6	青森県立八戸第二養護学校中学2年	6	解説・体験	山野
37	12.6	青森県立八戸第二養護学校中学1年	5	自由見学	

38	12.20	おいらせ町立木内々小6年	44	解説・体験	野沢・山野
39	1.31	八戸市立根城小3年	58	解説・体験	古里
40	2.7	階上町立赤保内小3年	44	解説・体験	小林・山野
41	2.13	八戸市立下長小3年	62	解説・体験	野沢・小林・山野
42	2.19	八戸市立西白山台小3年	72	解説・体験	市川・小林・山野
43	3.14	八戸市立根城小3年	58	解説・体験	古里・野沢・山野
延べ43校 1,586人					

2. その他学校等団体利用状況

生涯学習に寄与するため、様々な世代に向けた学びの機会の提供を行っている。令和6年度は未就学児や高齢者大学、各種団体等に見学解説を行った。

No.	来館日	団体名	人数	内容	職員
1	7.23	三八地域県民局職員視察	16	解説	市川
2	8.3	南部藩ゆかりの都市との交流事業 遠野市派遣団	32	解説	野沢
3	8.21	国立歴史民俗博物館	23	解説	市川・高橋
4	8.28	久慈市文化財調査委員等研修会	20	解説	市川
5	9.4	九戸村教委生涯学習アカデミー	14	自由見学	
6	9.6	八戸市鷗盟大学1年	78	解説	古里・野沢・山野
7	9.18	滝沢市睦大学歴史教育	25	解説	市川
8	9.19	新郷村農業者年金協会	15	解説	受付
9	10.7	遠野町まちづくり協議会	20	解説	山野
10	10.7	久慈市長内地区民生児童委員協議会	25	自由見学	
11	11.9	ミューズ保育園	14	解説	高橋
12	11.14	八戸学院大学短期大学部	20	自由見学	
13	11.22	三沢米軍基地第35任務支援群司令部	8	解説・体験	山野
14	11.28	諏訪老人クラブ	15	自由見学	
15	12.7	サポートセンターみらい	16	自由見学	
16	12.12	二戸市観光ツーリズム協会	9	解説	市川
17	1.26	岩手町中央公民館	30	解説	山野
18	2.4	長坂保育園	47	自由見学	
19	2.27	百石幼稚園	18	自由見学	
20	3.19	三戸城跡城歩きガイド	6	解説	市川・中村・高橋
延べ18団体 400人					

3. 出前授業

学芸員が小中学校へ出向き、連携を図りながら講座や体験学習を行っている。令和6年度は学校の要望に応じて、多種多様な出前授業を実施した。

令和元年度3回、2年度3回、3年度4回、4年度9回、5年度20回、6年度17回と近年増加傾向である。

No.	期日	学校・学年	内容	職員
1	7.4	八戸市立北稜中1年	えんぶりの歴史・内容	古里
2	10.10	八戸市立根城小5年	稲の脱穀体験	下村・小林・高橋
3	12.13	八戸市立西白山台小3年	丹後平古墳群について	市川・高橋
4	1.24	八戸市立中居林小3年	えんぶりの歴史・内容	古里
5	1.24	八戸市立中居林小5年	えんぶりの歴史・内容	古里
6	1.31	八戸市立中居林小1年	えんぶりの歴史・内容	古里
7	1.31	八戸市立中居林小2年	えんぶりの歴史・内容	古里
8	2.4	八戸市立西園小2年	えんぶりの歴史・内容	古里
9	2.5	八戸市立桔梗野小3年	えんぶりの歴史・内容	古里
10	2.6	青森県立八戸聾学校小学部1～6年	昔の暮らし、えんぶり	野沢・小林・高橋
11	2.7	八戸市立中居林小4年	えんぶりの歴史・内容	古里
12	2.7	八戸市立中居林小6年	えんぶりの歴史・内容	古里
13	2.19	青森県立八戸聾学校小学部3、6年	昔の暮らし	野沢・山野
14	2.21	新郷村立新郷小3年	昔の暮らし	野沢・小林
15	2.26	八戸市立城北3年	昔の暮らし	野沢・高橋
16	2.26	八戸市立三条中1、2年	えんぶりの内容・お囃子	古里
17	3.4	八戸市立柏崎小3年	昔の暮らし	山野・高橋



稲の脱穀体験



丹後平古墳群出土品のレプリカ

4. 浜小屋学習

博物館が管理している重要有形民俗文化財の浜小屋で、八戸市立大久喜小学校が毎年昔のくらしの体験を行っている。大久喜法師浜漁業民俗保存会が指導役となり、水くみ体験や、昔の生活の話を聞いている。令和6年度は3回実施した。

No.	来館日	学校・学年	人数	内容
1	5.21	大久喜小学校5・6年生	12	近隣の湧水である石仏沢(イシビジャー)から浜小屋まで、天秤棒で水を運ぶ。汲んだ水で浜小屋を掃除する。昔のくらしを聞く。
2	9.6	大久喜小学校1・2年生	10	浜小屋を水拭き。昔のくらしを聞く。
3	9.14	大久喜小学校3・4年生	9	石仏沢から浜小屋まで水を運び、浜小屋を掃除する。昔のくらしを聞く。



炉辺で話を聞く児童



石仏沢で水を汲む

5. 講師等派遣

令和6年度は、市内外から14件の講師等依頼に基づき学芸員等を派遣した。

No.	期日	派遣職員	内容等	場所	主催者(依頼者)
1	5.11	市川学芸員	講座 八戸市博物館めぐり① 「八戸の”縄文”文化-八戸の先史時代-」	当館	八戸自由大学
2	5.16	古里学芸員	歴史講座 「南部地方の昔の1年の行事」	柏崎公民館	八戸市立柏崎公民館
3	5.22	小保内館長	講演「八戸湊家文書について」	史跡根城の広場	根城史跡保存会
4	6.28	古里学芸員	歴史講話 「八戸の昔の一年の行事について」	柏崎公民館	八戸市立柏崎公民館
5	7.4	古里学芸員	講演 「写真で見るなつかしの八戸」	湊公民館	八戸市立湊公民館
6	7.6	中村専門員	講演 気軽に学べる歴史セミナー 「盛岡藩の参勤交代」	三戸町立図書館	三戸町教育委員会

7	8.24	市川学芸員	講座 八戸市博物館めぐり② 「鹿島沢古墳と丹後平古墳群」	当館	八戸自由大学
8	9.3	中村専門員	案内 研修旅行 「檜山崇徳館・檜山城」	檜山崇徳館ほか	根城史跡保存会
9	10.8	古里学芸員	講演 校外学習 「南郷地区を訪ねて」	南郷区内	八戸市鷗盟大学2年
10	10.23	小林学芸員	講座 「戦後、昭和30年代までに見る八戸地方の人々の暮らしと食文化～八戸南部地方の伝統食の源流をたどる～」	八戸プラザホテル	八戸地域社会研究会
11	11.9	市川学芸員	講座 八戸市博物館めぐり③ 「根城と八戸の南部氏」	当館	八戸自由大学
12	11.30	小保内館長	歴史講座 「八戸角御殿表門と二の丸の歴史」	ハートフルプラザ・はしかみ	階上町教育委員会
13	12.19	野沢学芸員 山野学芸員	歴史講座「火縄銃のヒミツ」	白銀公民館	八戸市立白銀公民館
14	3.5	古里学芸員	2学年「総合的な探求の時間」 「八戸地方えんぶりの歴史と今」	八戸工業大学第二高等学校	八戸工業大学第二高等学校

6. 催事運営

(1) 博物館クラブ・おとなの博物館クラブ

博物館や八戸の歴史・文化に親しむことを目的として、小中学生とその保護者を主な対象とした体験学習会(博物館クラブ)と、大人向けの体験講座(おとなの博物館クラブ)を実施している。



動く人形制作

No.	開催日	講座内容	講師	対象・定員	参加人数
1	5月3日(金・祝)	かぶとのヒミツ ～戦国武将の紙かぶと作り～	山野学芸員	小学生以上 6組×2回	15
2	5月4日(土・祝)、 5月5日(日・祝)	赤ちゃん集合！～成長記念に粘土で手形・足形づくり～	市川学芸員 高橋学芸員 山野学芸員	0～2才程度 の乳幼児 6組×2回	80
3	6月15日(土)	草木染め～昔の人はどんな色を着ていたの？～	天内みどり氏 (外部講師)	小・中学生 10組	7
4	6月22日(土)	こもんじょ・ちゃれんじ ～横帳を作ろう～	野沢学芸員	小・中学生 10組	2

5	7月13日(土)	ガラス工作に挑戦！ ～世界は○△□にあふれてる～	ガラス造形家 石橋忠三郎氏 (外部講師)	小・中学生 10組	8
6	8月10日(土)	動く人形を作ろう ～“動くってどんなこと？”～	木工作家 高橋みのる氏 (外部講師)	小・中学生 10組	8
7	10月12日(土)	染色講座「紅花と紫根」	天内みどり氏 (外部講師)	高校生以上 10人	6
8	11月3日(日・祝)	落ち葉であそぼ！～みんなでつくる 秋色絵巻～	山野学芸員	未就学児とその保護者	12
9	1月11日(土)	南部風絵に挑戦！ ～筆を使って描いてみよう～	山野学芸員	親子・一般 10組	5
10	1月19日(日)	資料の取扱方法 「刀剣資料」	山野学芸員	高校生以上 10人	6
11	3月1日(土)	貝びな作り～ハマグリのおひなさまを飾ろう～	山野学芸員	親子・一般 10組	6
計					155人

(2) 市民のための歴史講座（博図連携事業）

市民への生涯学習の機会を提供するため、博物館及び図書館で共通のテーマによる歴史講座を開催している。連携3年目となる令和6年度は「書籍と図書館」をテーマに4回実施した。各回定員50人。会場は第1・4回が八戸市博物館講義室、第2・3回が八戸市総合福祉会館多目的ホール。



歴史講座の様子

No.	開催日	演題	講師	参加人数
1	9月21日(土)	江戸の『図書館』と読書術 -擁書楼からみえる蔵書家の書籍環境-	獨協大学国際教養学部 特任講師 古畑 侑亮 氏	27
2	10月20日(日)	読本・近代挿絵の絵師と作品	八戸クリニック 街かどミュージアム 館長 小倉 学 氏	51
3	11月23日 (土・祝)	八戸市立図書館の源流 -大仲間・八戸書籍縦覧所-	東北大学東北アジア研究 センター 鈴木 淳世 氏	64
4	12月21日(土)	公営図書館の成立過程について	山口大学人文学部 准教授 伊東 達也 氏	31
計				173人

(3) 八戸城下めぐり

現在の八戸市中心街を歩きながら、八戸藩政時代の城下町であった名残をめぐり、郷土の歴史・文化に親しむ機会とするため実施している。各回定員15名。



城下めぐりの様子

No.	開催日	ルート	講師	参加人数
1	5月18日(土)	【入門編】 三八城公園(八戸城跡)～おがみ神社～角御殿表門～ 明治天皇行在所跡～札の辻～堤町～荒町～神明宮	野沢学芸員 山野学芸員	14
2	11月9日(土)	【特別編】※秋季特別展併催行事として開催 三八城公園(八戸城跡)～角御殿表門～荒町～榊形稲 荷神社～光龍寺～南宗寺～糠塚不動尊	小保内館長 山野学芸員	14

(4) 小中学生のための城歩き「お城へ行こう！」

小中学生を対象に、学芸員が根城跡・三戸城跡をくわしく案内して、歴史や当時の暮らしを学ぶ。当館と三戸町教育委員会が共同で開催している。

根城編では、今年度より発掘調査出土品の観察会を実施した。常設展示資料以外の陶磁器や金属製品のほかに、動物・植物遺存体も一部展示し、参加者に根城跡の歴史や当時の暮らしをより身近に感じてもらう機会とした。



出土品観察会の様子

No.	開催日	講座内容	主催・共催	定員	参加人数
1	6月30日(日)	in 根城 ～土の城を歩く～	主催：八戸市博物館 共催：三戸町教育委員会	20組	11組26人
2	7月7日(日)	in 三戸城 ～石の城を歩く～	主催：三戸町教育委員会 共催：八戸市博物館	20組	6組14人

7. その他の教育普及活動

(1) 博物館実習

令和6年度は、桜美林大学、弘前学院大学、新潟大学の3人の実習生を受け入れた。実施内容とスケジュールは以下のとおり。

No.	期日	講師	実習内容
1	8月21日(水)	全職員	開校式・ガイダンス
		実習担当	施設見学(博物館・根城跡・南郷歴史民俗資料館等)
2	8月22日(木)	館長	館長講話
		特別展担当	特別展見学
		図書館	学芸員講話
		実習担当	施設見学(是川縄文館)
3	8月23日(金)	考古部門	学芸員講話 考古資料の取扱い 史跡整備について
4	8月24日(土)	歴史部門	学芸員講話 歴史資料の取扱い
		是川縄文館	ギャラリートーク見学、ボランティア活動について
5	8月25日(日)	歴史部門	刀剣資料の取扱い 協力:(公財)日刀保八戸支部
		図書館	古文書ワークショップ
6	8月27日(火)	民俗部門	学芸員講話 民俗資料の取扱い
7	8月28日(水)	民俗部門	民俗資料の取扱い
		歴史部門	展示活用について
		全職員	閉校式

(2)職場体験

令和6年度は、10月29～31日に第二中学校2学年3人の職場体験を受け入れた。

(3)インターンシップ

令和6年度は、申し込みがなかったため実施しなかった。

8. 広報・出版活動

(1)情報発信

ポスターやチラシの配布、マスメディアや広報はちのへの定期的な情報発信、さらに八戸市博物館ホームページやX(旧ツイッター)、フェイスブックを用いて行っている。

Xでは、主に展示会や催事の案内、所蔵資料やミュージアムグッズの紹介、史跡根城の広場の様子などを週に複数回投稿している。Facebookでは、展示会や催事の案内を随時行っているほか、史跡根城の広場でみられる季節の草花を月毎にアルバムで紹介している。

史跡根城の広場のアカウントでは、日本100名城や御城印に関連する情報発信、南部氏ゆかりの城館と連携した「南部お城めぐり」プロジェクトに関する案内などを投稿している。

(2) 出版活動

当館が令和6年度に出版した刊行物は以下のとおりである。

名 称	規格	部数	発行年月日
なつかしの八戸Ⅲ きらめく八戸昭和 40 年代	A4 判, 96P, 白黒	500 部	2024. 7 .19
開館 40 周年記念 令和 6 年度秋季特別展 境界線上の彼女たち -ねね・鶴姫・南部麻-	A 5 判, 112P, カラー	500 部	2024.10. 5
博物館だより No.67	A3,二つ折 A4 判,白黒	750 部	2024.12. 1
博物館だより No.68	A3,二つ折 A4 判,白黒	750 部	2025. 3 .31
研究紀要 第 38 号	A4 判, 56P, 白黒	300 部	2025. 3 .28

【販売出版物一覧】(令和7年3月31日時点)

図録名	規格	価格	発行年月日
掘り起こされた南部氏の居城－根城－	B5 判, 77P, カラー	1,000 円	1989. 3 .31
東日本の小絵馬－ねがいと祈りの板絵－	B5 判, 62P, 白黒	500 円	1985. 7 .28
東北の土人形	B5 判, 66P, 白黒	500 円	1986. 7 .27
八戸俳諧のあゆみ	B5 判, 34P, 白黒	200 円	1989. 6 .10
なつかしの八戸－和井田登寄贈作品より－	A4 判, 208P, 白黒	2,000 円	1991.10.10
八戸のイカ釣	B5 判, 36P, 白黒	500 円	1992. 7 .26
音喜多コレクション目録	B5 判, 96P, 白黒	500 円	1992.11.30
伝統の美－ふるさとの文化財－	B5 判, 56P, カラー	500 円	1993. 7 .14
八戸の民芸	B5 判, 18P, カラー	500 円	1995. 4 .29
今浏览コレクション－正太郎・せつ夫妻の世界－	B5 判, 32P, 白黒	500 円	1997. 9 .20
子どもの文化史－産育・育児・教育－	A4 判, 27P, カラー	500 円	1998. 7 .19
武者絵物語－武者絵の中の英雄たち－	A5 判, 40P, 2 色	100 円	1998. 9 .17
青い目の人形	A4 判, 34P, カラー	500 円	1999. 7 .18
八戸藩－大名の江戸と国元－	A4 判, 72P, カラー	1,200 円	2001. 7 .14
八戸の俳諧	A4 判,104P,カラー/白黒	2,000 円	2003. 3 .31
大相撲展	A4 判, 58P, カラー	500 円	2003. 7 . 4
南部氏と根城	A4 判, 72P,カラー/白黒	2,000 円	2004. 9 .22
戦争と八戸市民－苦難とともに－	A4 判, 50P, カラー	800 円	2005. 7 . 9

吉田初三郎と八戸	A4 判, 64P, カラー	1,500 円	2006.7.15
災害と八戸	A4 判, 40P, カラー	700 円	2012.10.5
三陸－豊かな海の歴史と民俗－	A4 判, 56P, 白黒	1,000 円	2013.9.28
八戸と9人の藩主	A5 判,72P,カラー/白黒	1,000 円	2014.6.30
八戸フード記－自然・人・食－	A4 判,88P, カラー/白黒	1,000 円	2015.10.3
絵本 根城の歴史	A4 判, 24P, カラー	500 円	2016.10.8
八のへの米	A4 判, 16P, カラー	500 円	2017.10.7
八戸の古代	B5 判,44P,カラー/白黒	800 円	1991.8.31(初 版) 2018.5.30(第2 版)
エジソンコレクションガイド	A5 判, 42P, カラー	100 円	2018.7.21
なつかしの八戸Ⅱ－和井田登寄贈作品より－	A4 判, 82P, 白黒	1,000 円	2020.2.14
飢渴の郷土史－八戸ケガジ録－	A4 判, 64P, カラー	1,500 円	2020.7.4
今般廃藩之儀－最後の藩主・南部信順－	A4 判, 14P, カラー	300 円	2021.9.30
乱世の終焉－根城南部氏と城－	A4 判, 64P, カラー	1,500 円	2021.11.15
報告書「八戸沿岸の漁撈習俗」改訂再版	B5 判, 127P, カラー	1,000 円	2022.7.9
日本刀	A4 判, 58P, カラー	800 円	2023.7.8
J-mode 縄文の流儀	A4 判, 106P, カラー	2000 円	2023.11.9
なつかしの八戸Ⅲ－和井田登寄贈作品より－	A4 判, 96P, 白黒	1,500 円	2024.7.19
境界線上の彼女たち -ねね・鶴姫・南部麻-	A5 判, 112P, カラー	1,200 円	2024.10.5

IV. 資料管理

1. 部門別収蔵資料点数（令和7年3月31日現在）

部門	考古	歴史	民俗	総点数
令和6年度	1	40	482	523
総点数	24,083	25,856	50,947	100,886

2. 令和6年度寄贈資料（令和7年3月31日現在）

当館では、八戸の歴史や文化を示す資料を収集・保存するため、随時寄贈を受け入れている。

資 料 名	点数	寄 贈 者(敬称略)	寄贈年月日
《考古資料》			
大刀	1	細越 敬喜	八戸市 6.4.2

《歴史資料》				
なぎなた	1	細越 敬喜	八戸市	6.4.2
雛道具一式	36	福田 和	八戸市	6.4.19
鐔	2	(公財)日本美術 刀剣保存協会八 戸支部	八戸市	6.11.24
絵図	1	遠藤 功太郎	東京都	6.12.20
《民俗資料》				
中折れ帽、外套、角樽など	10	見滝 正義	横浜市	6.9.20
書籍	6	古里 淳	八戸市	6.12.5
切り紙細工、えんぶり写真など	8	中村 孝	八戸市	6.12.10
三社大祭写真	455	西舘 邦法	おいらせ町	6.12.18
カメラ	1	市民連携推進課	八戸市	6.12.19
豊年すだれ	2	赤坂 勝男	八戸市	7.2.28

3. 所蔵資料指定文化財一覧（令和7年4月1日現在）

当館では下記の指定文化財を所蔵しており、適正な管理に努めている。

No.	区分	種別	名称	員数	指定年月日
1	国重要文化財	考古	青森県丹後平古墳群出土品	195 点	H30.10.31
2	国重要文化財	考古	青森県櫛引遺跡出土品	83 点	R5.6.27
3	国重要有形民俗文化財		八戸及び周辺地域の漁撈用具と 浜小屋	1,383 点 1 棟	H5.4.15
4	国史跡		根城跡	18,5 m ²	S16.12.13 H23.2.7
5	県重宝	建造物	八戸城角御殿表門 附棟札・毘沙 門天像	3 枚 1 軀	S56.4.18
6	県重宝	工芸	日本刀 銘 奥観寿藤原吉廣	1 口	S43.4.5
7	県重宝	工芸	菊牡丹唐草轡十字紋蒔絵漆器	13 点	H18.2.1
8	県重宝	工芸	唐草南部鶴紋蒔絵漆器	12 点	H18.4.19
9	県重宝	工芸	南部鶴紋蒔絵漆器	7 点	H18.4.19
10	県重宝	歴史資料	湊家文書	11 通	S47.4.6

11	県重宝	考古資料	縄文式甕形土器	1 個	S31.5.14
12	県重宝	考古	鹿島沢古墳群出土品(一括)	63 点	H14.4.17 R6.4.8
13	市有形文化財	建造物	旧八戸城東門	1 棟	H5.6.3
14	市有形文化財	工芸	日本刀 銘 精壯齋宗有	1 口	S61.2.21
15	市有形文化財	書籍・典籍・古文書	諸国神社仏閣掛所算術	1 冊	H14.1.24
16	市有形文化財	歴史資料	和算用算木	1 組	S48.1.24
17	市有形文化財	歴史資料	鬼瓦	3 個 1 式	H5.6.3
18	市有形民俗文化財		神巧皇后と武之内宿禰(人形、飾り幕)	2 体 1 枚	H15.7.29
19	市有形民俗文化財		為朝と嶋人(人形、雛形)	3 体 1 枚	H15.7.29

4. 収蔵資料保存修理と活用

(1)重要文化財保存修理事業・レプリカ製作事業

・重要文化財丹後平古墳群出土品保存修理

平成 30 年に重要文化財に指定された「青森県丹後平古墳群出土品」195 点の中には、刀や鍬などの脆弱な金属製品が多く含まれている。サビにより形状が変化しやすく、経過観察と適切な保存修理を継続して行う必要があるため、令和元年度から国庫補助を得て保存修理事業に着手している。



保存修理を行った鉄轡と作成した安定台

令和 6 年度は、鍬形飾金具 1 点、鉄刀 2 点、鉄鍬 9 点、鉄轡 1 点、環状製品 6 点、石製紡錘車 1 点の計 20 点の保存修理を業務委託で行った。

・重要文化財櫛引遺跡出土品保存修理

令和 5 年に重要文化財に指定された「櫛引遺跡出土品」83 点は、縄文時代草創期のものであり、繊細で薄い土器片が多い。脆弱な部分の強化と資料の形状に合わせた安定台と保存箱の必要性から、令和 6 年度より国庫補助を得て保存修理事業に着手した。

修理初年度は、深鉢形土器 1 点の保存修理及び安定台・保存箱の作成を行った。



保存修理を行った深鉢形土器と作成した安定台・保存箱

・重要文化財櫛引遺跡出土品レプリカ製作

「櫛引遺跡出土品」は縄文時代草創期のもので、出土事例が少なく、全形がわかる資料が稀少である中、完形に近い個体が出土しており、極めて貴重な資料である。今後、こうした貴重な重要文化財を保存するとともに、その価値を広く伝えるため、令和5年度から2か年でレプリカ製作に取り組んだ。

令和5年度は草創期の土器の繊細さや製作技術のすばらしさを触って体感してもらう教育普及用のレプリカを製作した。令和6年度は、展示事業等に利活用するための質の高いレプリカを製作した。



製作した展示用深鉢形土器レプリカと台座

(2) 歴史・民俗資料保存処理

・歴史資料修復作業

螺鈿小箆筥 1 点

・絵図面補修等作業

「大字櫛引村 地押訂正絵図面」17 枚、「盛岡城下周辺図」一式、「八戸廻御代官所絵図」1 枚

・刀剣研磨等作業

なぎなた 銘「備前介宗次／安政四年八月日」、槍 銘「山城国住下坂作」各 1 点

5. 保存環境の維持管理

(1) 燻蒸

委 託 先：イカリ消毒株式会社 八戸営業所

資料燻蒸：①令和7年2月 4日(火)～2月14日(金)／民俗資料

②令和7年2月26日(水)～3月 4日(火)／歴史資料

(2) 昆虫相生息調査

期 間：令和6年4月～令和7年3月末

委 託 先：イカリ消毒株式会社 八戸営業所

実施場所：八戸市博物館、旧八戸市立中野小学校(収蔵庫として使用)

業 務：①トラップの設置(年12回、1か月ごとに害虫発生状況の報告書を提出)

②館内侵入防除の提案

(3) 浜小屋管理

期 間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

委 託 先：大久喜法師浜漁業民俗保存会(会長 高橋 信行)

実施場所：八戸市立民俗収蔵庫及び浜小屋(八戸市大字鮫町字大作平 44)

- 業 務：①収蔵庫及び浜小屋(重要有形民俗文化財)の清掃作業
 ②浜小屋の茅葺屋根の防虫・防腐・殺菌を目的とした燻し作業
 ③草刈り・植栽管理
 ④施設の保全
 ⑤火災・盗難防止

実 績：清掃 7 回、燻し作業 14 回、草刈り 9 回、剪定 1 回、案内板修繕 1 回、
 消防設備点検 1 回

6. 資料の利用状況

(1)写真資料(映像・図版含む)

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	許可日	利用先
1	(株)青森テレビ	和井田登撮影写真	2	写真データ貸与・放映	6.4.6	「わっち News」
2	とやま朗読劇の会	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・放映	6.4.13	朗読劇「夏の雲は忘れない」
3	(株)E&W	和井田登撮影写真	8	写真データ貸与・掲載	6.4.24	BS11「中山秀征の楽しく 1 万歩 街道びより」
4	個人	菊牡丹唐草十字紋蒔絵漆器ほか	2	写真データ貸与・掲載	6.4.30	東奥日報新聞
5	有限会社アートエフ	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ掲載	6.5.1	書店販売用の大学入試過去問教材書籍
6	(株)フォト・オリジナル	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ掲載	6.5.8	書店販売用の大学入試過去問教材書籍
7	一般社団法人日本総合検定資格センター	根城本丸御殿	1	写真データ貸与・掲載	6.5.8	日本名城検定公式テキスト
8	遠野市立博物館	八戸南部家旧蔵博物標本資料	2	写真データ貸与・掲載	6.5.8	企画展「遠野物語と異界」
9	有限会社グラフ青森	博物館外観、館内、史跡根城の広場	4	写真データ貸与・掲載	6.5.15	『地球の歩き方 みちのく』
10	こなつの会	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	6.5.15	朗読劇「夏の雲は忘れない」
11	(株)日本入試センター	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ掲載	6.5.21	書店販売用の大学入試過去問教材書籍
12	(株)勉誠社	根城跡出土品ほか	2	写真データ貸与・掲載	6.5.23	『アジア遊学 奥羽再仕置再考』
13	公益財団法人 黒石市民財団	丹後谷地遺跡出土品ほか	2	写真データ掲載	6.5.29	「ふるさと読本 第八集」
14	(株)オネストワン	根城の御城印	1	写真データ貸与・掲載	6.6.4	「TJMOOK 御城印入門」
15	(株)青森テレビ	和井田登撮影写真	33	写真データ貸与・放映	6.6.5	「わっち News」
16	号外ネット八戸	博物館外観、館内、南部師之騎馬像	7	写真データ貸与・掲載	6.6.11	号外ネット
17	独立行政法人大学入試センター	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ掲載	6.6.15	試験問題、ホームページ
18	八戸ポータルミュージアム	和井田登撮影写真	15	写真データ貸与・掲載	6.6.18	「なつかしの八戸七夕まつり」

19	(株)東奥日報社東京支社	メドツ看板	1	写真データ掲載	6.6.21	「東北リラックス編集長」
20	北海道中央バス(株)シーピーアーズカンパニー	博物館外観、常設展示室、史跡根城の広場	5	写真データ貸与・掲載	6.6.26	旅行商品造成
21	一般社団法人日本著作権教育研究会	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ掲載	6.6.26	ホームページ
22	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	2	写真データ貸与・掲載	6.6.28	連載「思い出の繁華街」
23	(株)勉誠社	根城跡出土品ほか	2	写真データ貸与・掲載	6.5.23	『アジア遊学 奥羽再仕置再考』
24	三八県民局	常設展示室	1	写真データ貸与・掲載	6.7.9	縄文周遊発掘スタンプラリーのチラシ
25	松戸市立博物館	丹後谷地(1)(2)遺跡出土品ほか	9	写真データ貸与・掲載	6.7.9	企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」
26	(株)金甲舎	根城本丸空撮写真ほか	3	写真データ貸与・転載	6.7.9	『日本の名城 15 号 弘前城・根城・浪岡城』
27	(株)同成社	丹後谷地遺跡出土品	1	写真データ掲載	6.7.12	『御所野遺跡ものがたり』
28	合同会社ものの芽舎	和井田登撮影写真ほか	7	写真データ貸与・掲載	6.7.26	『季刊あおもりのき 19 号』
29	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	6.7.31	連載「思い出の繁華街」
30	合同会社ものの芽舎	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	6.7.31	『季刊あおもりのき 19 号』
31	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ転載	6.7.31	『中学入試合格テキスト』
32	(株)学びエイド	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ掲載	6.8.7	映像授業
33	南郷観光協会	和井田登撮影写真	96	写真データ貸与・掲載	6.8.8	展示会、写真集
34	日本経済新聞社	田面木平遺跡出土品ほか	2	写真データ貸与・掲載	6.8.9	朝刊文化面、電子版「美の十選」
35	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	6.8.11	連載「思い出の繁華街」
36	八戸市観光課	吉田初三郎画「明治天皇肖像」	1	写真データ貸与・掲載	6.8.12	吉田初三郎パネル展
37	(株)山川出版社	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ貸与・掲載	6.8.21	『大学入学共通テストへの道 歴史総合、日本史』
38	東奥日報社	博物館外観	1	写真データ転載・掲載	6.8.29	『世界文化遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群 特別史跡三内丸山遺跡』
39	(株)青森テレビ	和井田登撮影写真	3	写真データ貸与・放映	6.8.29	「わっち News」
40	個人	和井田登撮影写真ほか	5	写真データ貸与・掲載	6.8.29	調査研究
41	盛岡市上田公民館	橋本雪蕉筆 白衣観音図ほか	3	写真データ掲載	6.8.29	講座
42	青森県埋蔵文化財センター	長七谷地貝塚出土品	2	写真データ掲載	6.9.1	あもり縄文カード、ホームページ
43	個人	和井田登撮影写真	7	写真データ貸与・展示	6.9.3	町内会行事

44	個人	永歳覺日記	2	写真データ 掲載	6.9.11	『南部ふるさと料理集』
45	三内丸山遺跡センタ ー	櫛引遺跡空撮写真ほか	3	写真データ 貸与・掲載	6.9.20	講義資料
46	(株)デーリー東北新 聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ 貸与・掲載	6.9.16	連載「思い出の繁華街」
47	(株)風間書房	俳諧葛藤抄	1	文字データ 掲載	6.9.25	『新修俳諧伝書集 下』
48	是川縄文館	丹後谷地(1)(2)遺跡出 土品ほか	2	写真データ 貸与・掲載	6.9.26	企画展「合掌土偶ができた ころ」
49	八戸市社会教育研究 会	和井田登撮影写真ほか	35	写真データ 貸与・掲載	6.9.28	八戸市小学校社会科副読 本
50	(株)エスアンド	八戸南部家旧蔵博物標 本資料	7	写真データ 転載	6.10.2	『遠野物語と怪異 遠野の 呪術の世界』
51	(株)デーリー東北新 聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ 貸与・掲載	6.10.16	連載「思い出の繁華街」
52	学校法人河合塾	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ 掲載	6.10.18	Web 受験用問題
53	青森県立郷土館	根城三丁目出土製塩土 器	1	写真データ 掲載	6.10.25	「青森県立郷土館のブログ ～Weekly きょうどかん」
54	(株)共同テレビジョン	八戸南部家旧蔵博物標 本資料（双頭の人魚）	1	写真データ 貸与・放映	6.11.2	ドラマ「全領域異常解決 室」第6話
55	(株)オリオンS P	田面木平遺跡出土品ほ か	2	写真データ 貸与・掲載	6.11.6	販売促進用冊子
56	個人	メドツ看板	1	写真掲載	6.11.19	「南部弁の日」パンフレ ット
57	(株)同成社	根城跡出土品	1	写真掲載	6.11.19	『古代国家と東北境界領 域の考古学』
58	(株)淡交社	八戸南部家旧蔵博物標 本資料	3	写真データ 貸与・掲載	6.11.19	『江戸時代のオタクファ イル』
59	(株)ベネッセコーポ レーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ 転載	6.11.29	『中学入試実戦テキスト』 ほか
60	個人	西長根遺跡出土品ほか	5	写真データ 掲載	6.12.5	『彩色土器の考古学』
61	(株)デーリー東北新 聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ 貸与・掲載	6.10.16	連載「思い出の繁華街」
62	是川縄文館	八戸南部家旧蔵博物標 本資料	2	写真データ 貸与・掲載	6.12.10	企画展「縄文・かたちの 美－是川遺跡の石器・石 製品」
63	(株)NHK エデュケ ーショナル	千石船万徳丸図	1	写真データ 貸与・掲載	6.12.12	通信教育講義資料
64	(株)KANADEL	史跡根城の広場空撮写 真	1	写真データ 貸与・掲載	6.12.13	『ポプラディアプラス日 本の歴史』第2巻
65	テレビマンユニオン	西町屋文書「卯辰飢饉 物語」挿絵6	1	写真データ 貸与・放映	6.12.17	テレビ番組「遠くへ行 きたい」
66	個人	和井田登撮影写真	1	写真データ 貸与・掲載	6.12.22	『青森のくらし』
67	岩手中央公民館	博物館外観画像ほか	2	写真データ 貸与・掲載	6.12.22	事業周知チラシ

68	(株)エスアンド	八戸南部家旧蔵博物標本資料	7	写真データ 転載	6.12.24	『遠野物語と怪異 遠野の呪術の世界』（電子書籍版）
69	マガジンハウス	メドツ看板ステッカー	1	写真データ 掲載	6.12.26	『BRUTUS1023号』
70	(株)文学通信	石手洗遺跡出土品	1	写真データ 掲載	6.12.26	『REKIHAKU』
71	(株)デーリー東北新聞社	令和3年えんぶり奉納 順番札	3	写真データ 掲載	7.1.29	えんぶり特集号
72	(株)ハウフルス	西町屋文書「卯辰飢饉物語」挿絵1	1	写真データ 貸与・放映	7.1.30	秘密のケンミン SHOW 極
73	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ 貸与・掲載	7.1.29	連載「思い出の繁華街」
74	(株)クラリス	耳飾り	1	写真データ 貸与・掲載	7.2.2	『歴史道 38号』
75	個人	唐草南部鶴紋蒔絵漆器 ほか	3	写真データ 貸与・掲載	7.2.8	『北の歴史から』13号
76	八戸市小学校社会科 研究会	和井田登撮影写真ほか	4	写真データ 貸与・掲載	7.2.16	小学校社会科副読本3年生用
77	(株)デーリー東北新聞社	メドツ看板ほか	13	写真データ 掲載	7.2.16	八戸こどもまちなか IT 部こまちラボ
78	(株)河合出版	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ 貸与・掲載	7.2.18	大学入学共通テスト対策 用問題集
79	(株)八木書店出版部	丹後平古墳群出土品	1	写真データ 貸与・掲載	7.2.18	『律令国家の辺境と交通』
80	三内丸山遺跡センター	櫛引遺跡出土品	3	写真データ 貸与・掲載	7.2.18	特別展「縄文時代のはじまり」
81	三内丸山遺跡センター	日計遺跡出土品ほか	20	写真データ 掲載	7.3.4	特別展「縄文時代のはじまり」
82	北海道環境生活部縄 文世界遺産推進室	長七谷地貝塚出土品	2	写真データ 掲載	7.3.4	教育普及用パンフレット
83	NHK 青森放送局	和井田登撮影写真	1	写真データ 貸与・放映	7.3.6	「照英の全力！三陸スナック〜600 km縦断スペシャル」 (NHK 総合)
84	(株)佐川印刷	常設展示室	1	写真データ 貸与・掲載	7.3.6	八戸学院大学「2026 学 校案内」
85	(株)ベネッセコーポ レーション	長七谷地貝塚出土品	2	写真データ 転載	7.3.11	『中学入試授業テキスト 8月号』ほか
86	(株)ベネッセコーポ レーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ 転載	7.3.11	『中学入試実戦テキスト 8月号』ほか
87	(株)Begin	メドツ看板マグネット ステッカーほか	2	写真データ 貸与・掲載	7.3.12	Begin 5月号
88	(株)TBS スパークル	八戸藩知事辞令	1	写真データ 貸与・放映	7.3.14	「関口宏の一番新しい近 現代史」
89	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ 貸与・掲載	7.3.6	連載「思い出の繁華街」

90	(株)フォト・オリジナル	古宮遺跡出土甕・甔	4	写真データ 転載	7.3.25	大学入学共通テスト対策 用問題集
----	--------------	-----------	---	-------------	--------	---------------------

(2) 実物資料の貸出し

No.	申請者名	資料名	点数	利用法	展示(使用)期間
1	東北歴史博物館	湯浅屋新田(2)遺跡 出土品ほか	5	常設展示	6.4.1～7.3.31
2	府中市美術館	吉田初三郎画「明治 天皇肖像」(昭和5 年)	1	企画展「吉田初三郎の世界」	6.5.18～6.7.7
3	遠野市立博物館	『万国通商往来図』 ほか	9	特別展「遠野物語と異界」	6.7.19～6.9.23
4	千葉県立中央博物館	タイリョウバンテン	1	特別展「万祝博覧会ー海をま とう」	6.7.27～6.9.29
5	松戸市立博物館	丹後谷地(1)(2)遺跡 出土品ほか	9	企画展「異形土器 縄文時代の 不思議なうつわ」	6.9.14～6.11.4
6	八戸市市民連携推進課	大人用 鎧 (体験 用) ほか	一式	「国際ふれあいフェスタ in は ちのへ」	6.10.27
7	南郷歴史民俗資料館	蕎麦切り包丁ほか	9	企画展「そば展」	6.11.30～7.3.16
8	是川縄文館	個人寄贈資料	1	企画展「縄文・かたちの美ー 是川遺跡の石器・石製品ー」	6.12.14～7.3.24
9	西白山台小学校	えんつこ	1	授業で使用	7.2.19～7.2.21
10	平川市郷土資料館	菱刺し三幅前掛けの 中布ほか	5	伝統文化鑑賞会	7.3.7～7.3.9

(3) 資料調査ほか

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	利用日	利用先
1	個人	浄土要文抄ほか	6	閲覧・写真撮影	6.4.24	研究
2	遠野市立博物館	『万国通商往来』ほ か	9	写真撮影・計測	6.4.30	特別展に伴う資料 調査
3	個人	「糠塚字南長市」	1	閲覧	6.5.8	研究
4	八戸ポータルミュージ アム	和井田登写真	1	閲覧	6.5.17	調査
5	国立アイヌ歴史民族博 物館	『万国通商往来』ほ か	9	閲覧・写真撮影	6.6.8	特別展に伴う資料 調査
6	八戸酒造(株)・みちのく みなと未来(株)	和井田登撮影写真	66	閲覧・複写	6.6.13	調査
7	南部菱刺研究会	南部菱刺し、裂織	一式	閲覧・写真撮影	6.7.25	調査・研究
8	青森県埋蔵文化財調査 センター	長七谷地貝塚出土品 ほか	一式	観察・写真撮影	6.7.26	「あおり縄文カ ード」作成
9	個人	福岡九戸館圖	1	閲覧・写真撮影	6.7.31	研究

10	個人	十和田市一日町身町出土土師器甕（音喜多コレクション）	1	観察・写真撮影	6.9.5	研究
11	個人	丹後平古墳群出土品ほか	39	実測・写真撮影	6.9.10	研究
12	個人	石手洗遺跡出土品ほか	5	熟覧・3D写真撮影	6.10.27	調査
13	八戸市社会教育研究会	脱水機付き洗濯機ほか	4	写真撮影	6.9.28	調査
14	高岡の森弘前藩歴史館	刀 銘 精壮宗有/慶應二年八月日ほか	7	熟覧・計測・写真撮影	6.10.23	企画展に伴う資料調査
15	個人	ツマゴ	1	写真撮影	6.11.3	書籍に掲載
16	個人	刀「精光斎宗重」ほか	4	閲覧・写真撮影	6.11.4	調査
17	個人	メドツ看板	1	写真撮影	6.11.16	広報物掲載
18	三内丸山遺跡センター	日計遺跡出土品ほか	20	実見・写真撮影	6.11.29	企画展に伴う資料調査
19	個人	メドツ看板	1	写真撮影	6.11.30	八戸ヒストリア掲載
20	個人	五戸町薬師前遺跡出土品	18	写真実測・観察・写真撮影	6.12.12	研究
21	個人	五戸町薬師前遺跡出土品ほか	一式	観察・写真撮影・サンプリング調査・3D計測	6.12.18	調査
22	個人	田面木平遺跡出土品ほか	39	熟覧・計測・写真撮影	7.1.23	研究
23	個人	菱刺し	1	閲覧・写真撮影	7.2.21	調査
24	是川縄文館	根城跡出土品ほか	32	熟覧・写真撮影	7.3.4	企画展に伴う資料調査
25	NPO 法人なんぶ民芸	菱刺し	1	閲覧	7.3.4	調査・研究

V. 調査研究

1. 調査実績

博物館活動の基礎となる資料充実及び展覧会準備のため、日常的に調査研究活動や資料整理等を行っている。主な調査実績は以下のとおり。

No.	日程	調査内容	調査地	職員
1	6.5.11	寄贈に係る資料調査（信仰用具）	八戸市田面木	小林
2	6.6.16	資料調査（えんぶり）	八戸市博物館	小林
3	6.6.20	秋季特別展に係る資料調査	もりおか歴史文化館	野沢・山野
4	6.6.27	資料調査（八戸大火）	八戸市博物館	小林

5	6.8.1～2	博物館リニューアルに係る撮影（八戸三社大祭）	八戸市中心街	館長・副館長・小林
6	6.8.6～31（内2回）	資料調査（軍隊手帳）	八戸市博物館	小林
7	6.8.8～12	圓子家文書調査	五戸町	野沢・山野
8	6.8.11～9.20（内2回）	寄贈に係る資料調査（吉田・見滝家）	六戸町上吉田	小林・佐々木
9	6.8.14～15	企画展「八戸の災害」に係る写真撮影	山寺墓地ほか	小林
10	6.8.29	秋季特別展に係る資料調査	図書館	野沢・山野
11	6.10.25	博物館リニューアルに係る視察	横浜みなと博物館 品川歴史館	小林
12	6.11.13	寄贈に係る資料調査（鼎浦丸）	八戸市大久喜	小林・佐々木
13	6.11.25～26	博物館リニューアルに係る視察	松本市立博物館 長岡市立科学博物館他	館長・市川・小林
14	7.1.19	寄贈に係る資料調査	八戸市内丸	野沢・山野
15	7.2.5	寄贈に係る資料調査（えんぶり他）	八戸市根城	小林・佐々木
16	7.2.16～18	博物館リニューアルに係る撮影（八戸えんぶり）	八戸市中心街	館長・小林
17	7.2.25	寄贈に係る資料調査（えんぶり）	八戸市博物館	小林・佐々木
18	7.2.26～3.2	圓子家文書調査	五戸町	野沢・山野
19	7.3.11	寄贈に係る資料調査	八戸市鮫町	市川・高橋

2. 職員の調査研究活動

小保内 裕之（館長・考古学）

【研究発表・講座・講演など】

- ・講演「八戸湊家文書について」 於史跡根城の広場 本丸主殿（令和6年5月22日）
- ・講座「八戸城角御殿表門と二の丸の歴史」於ハートフルプラザ・はしかみ
（令和6年11月30日）

【他機関からの委嘱】

- ・青森県立郷土館協議会委員

古里 淳（主幹・民俗学）

【執筆活動】

- ・図録『なつかしの八戸Ⅲ きらめく八戸昭和40年代 -和井田登寄贈作品より-』
（令和6年7月19日発行）
- ・「開催報告 夏季特別展 きらめく八戸」『八戸市博物館だより』67（令和6年12月1日発行）
- ・「令和6年度八戸工業大学共同研究概要」『八戸市博物館研究紀要』38
（令和7年3月28日発行）共著

- ・「市町村合併と南郷の歴史民俗資料館」『八戸市博物館だより』68（令和7年3月31日発行）

【研究発表・講座・講演など】

- ・講座「南部地方の昔の1年の行事」『柏崎公民館歴史講座』於柏崎公民館
(令和6年5月16日)
- ・講座「八戸の昔の一年の行事について」『柏崎公民館歴史講座』於柏崎公民館
(令和6年6月28日)
- ・講演「写真で見るなつかしの八戸」『湊公民館講座』於湊公民館(令和6年7月4日)
- ・講演「南郷地区を訪ねて」「鷗盟大学 校外学習」於南郷区内(令和6年10月8日)
- ・講座「八戸地方えんぶりの歴史と今」『八戸工業大学第二高等学校 2 学年総合的な探求の時間』於八戸工業大学第二高等学校(令和7年3月5日)

【他機関からの委嘱】

- ・八戸市立中居林小学校非常勤講師

市川 健夫（主査兼学芸員・考古学）

【執筆活動】

- ・「八戸市博物館と考古学」『季刊考古学』170（令和7年1月25日発行）
- ・「八戸市松ヶ崎遺跡における廃屋墓出土人骨の鑑定と自然科学分析」『八戸市博物館研究紀要』38（令和7年3月28日発行）共著
- ・「鹿島沢古墳出土金属製品のX線CT分析」『八戸市博物館研究紀要』38（令和7年3月28日発行）
- ・「青森県八戸市石手洗遺跡出土の顔面装飾付土器」『縄文時代異形土器集成図譜Ⅱ-顔身体土器1-』（令和7年3月31日発行）

【研究発表・講座・講演など】

- ・講演「八戸の“縄文”文化～先史時代の八戸」『八戸自由大学 八戸市博物館めぐり その1』於八戸市博物館（令和6年5月11日）
- ・講演「鹿島沢古墳と丹後平古墳群」『八戸自由大学 八戸市博物館めぐり その2』於八戸市博物館（令和6年8月24日）
- ・講演「根城と八戸の南部氏」『八戸自由大学 八戸市博物館めぐり その3』於八戸市博物館（令和6年11月9日）
- ・講座「史跡根城跡の環境整備と保護」『根城史跡ボランティアガイド自主研修』於八戸市博物館（令和7年2月16日）

【他機関からの委嘱】

- ・青森県考古学会 運営委員(平成22年～)
- ・日本災害・防災考古学会 総務委員会代表委員(令和4年～令和6年)

野沢 江梨華（主査兼学芸員・歴史学）

【執筆活動】

- ・「開催報告 秋季特別展 境界線上の彼女たち」『八戸市博物館だより』67
(令和6年12月1日発行)

【研究発表・講座・講演など】

- ・講座「火縄銃のヒミツ」『白銀公民館歴史講座』於白銀公民館(令和6年12月19日)

小林 力（主査兼学芸員・民俗学）

【執筆活動】

- ・「進化し続ける八戸三社大祭」『東京と青森』675(令和6年8月10日発行)
- ・「類家えんぶり組の文書資料等について」『八戸市博物館研究紀要』38
(令和7年3月28日発行)

【研究発表・講座・講演など】

- ・講演「昭和30年代までに見る八戸地方の人々の暮らしと食文化－八戸南部地方の伝統食の源流をたどる－」『八戸地域社会研究会』於八戸プラザホテル(令和6年10月23日)

山野 友海（主査兼学芸員・歴史学）

【執筆活動】

- ・「八戸とミュージアムの歩み」『八戸市博物館だより』67(令和6年12月1日発行)
- ・「資料紹介 根城跡出土 防衛食容器の蓋」『八戸市博物館だより』68
(令和7年3月31日発行)

【研究発表・講座・講演など】

- ・講座「火縄銃のヒミツ」『白銀公民館歴史講座』於白銀公民館(令和6年12月19日)

高橋 怜土（主事兼学芸員・考古学）

【研究発表・講座・講演など】

- ・ポスター発表「近代・大学校地内より出土した大量の動物骨－東京大学本郷構内の遺跡の事例－」『日本動物考古学会 第11回大会』於東北芸術工科大学山形キャンパス(令和6年7月6日～7日)連名
- ・講座「出土動物資料からみる中世の人々の動物利用」『史跡根城ボランティアガイド自主研修』於八戸市博物館(令和7年3月2日)

中村 隼人(史跡根城整備専門員・建築史学)

【執筆活動】

- ・「令和 6 年度八戸工業大学共同研究概要」『八戸市博物館研究紀要』38
(令和 7 年 3 月 28 日発行)共著
- ・「元屋敷遺跡で検出された掘立柱建物の評価」『元屋敷遺跡調査報告書-百目木地区団地造成
工事に伴う発掘調査報告書-』大江町埋蔵文化財調査報告書第 20 集
(令和 7 年 3 月 31 日発行)

【研究発表・講座・講演など】

- ・講座「盛岡藩の参勤交代」『三戸町歴史講座』於三戸町中央公民館(令和 6 年 7 月 6 日)
- ・講座「根城像形成の歴史」『史跡根城ボランティアガイド自主研修』於八戸市博物館
(令和 7 年 1 月 12 日)

【他機関からの委嘱】

- ・史跡檜山安藤氏城館跡調査整備委員(能代市教育委員会)
- ・青森県文化財保護指導員(青森県教育委員会)
- ・史跡左沢楯山跡保存整備検討委員会オブザーバ(大江町教育委員会)

VI. 博物館展示等リニューアル事業

1. 事業概要

開館から 42 年が経過し、施設の老朽化と展示の陳腐化が進んだため、令和 7～9 年度の 3 か年でリニューアル工事を行い、展示・収蔵環境の適正化と刷新を図る。

2. コンセプト

- ・ハード面：安心安全で誰もが使いやすい博物館。
- ・ソフト面：風土に根ざす八戸の特徴的な文化を伝える博物館。

3. リニューアル内容

(1)防災設備改修

- ・常設展示室出口に自動扉新設
- ・特別展示室(前室含む)及び講義室を防火戸に更新
- ・各収蔵庫の吊り照明を撤去、LED 化
- ・1 階バックヤードに目隠し扉新設

(2)展示収蔵設備改修

- ・常設展示室出口に自動扉新設(再掲)
- ・展示ケース更新
- ・常設展・無形資料展・特別展・講義室の照明最適(LED 等)化

- 民俗・歴史・考古収蔵庫の扉を更新

(3) 常設展示の改修

- 導入シアター新設
- 展示ケース・照明の更新（再掲）
- サイン類・展示物の更新

(4) その他改修

- 受付及び周辺サインの更新
- 風除室床仕上げ改修

(5) 施設長寿命化工事

- 空調及び高圧受電設備改修

4. 事業スケジュール

- 令和5年度：基本設計

委託契約先：(株)トータルメディア開発研究所

- 令和6年度：実施設計

委託契約先：(株)トータルメディア開発研究所

契約期間：令和6年7月24日～令和7年3月31日

契約金額：26,598千円

- 令和7年度：休館（令和7年10月6日～9年6月30日予定）・工事着手
- 令和9年度：からし期間を経て、再開予定

5. 改修検討会議

日程：令和7年3月22日(土)

案件：・リニューアルの概要について

- ・常設展示室の改修方針について
- ・ガイダンスシアターについて
- ・常設展示室改修について
- ・改修スケジュールについて

○有識者名簿

氏名	所属等	分野
佐々木 亨	北海道大学大学院文学研究院 特任教授	博物館経営学・博物館学

建石 徹	独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館 学芸部長 文化財防災センター 副センター長	文化財の防災・保存科学
石垣 悟	國學院大學観光まちづくり学部 准教授	民俗学・博物館学
池田 拓馬	八戸学院大学短期大学部 准教授	博物館活用(美術・幼児教育)
工藤 竹久	八戸市文化財審議委員 八戸市博物館協議会会長 元八戸市博物館長	考古学
山田 泰子	八戸市美術館 美術専門監 八戸市文化財審議委員	歴史学

6. 完成予想図



ガイドンスシアター



常設展示室

第二部 史跡根城の広場

I. 施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和 16 年	根城跡が国指定史跡になる
昭和 47 年	史跡の国有化始まる
昭和 52 年	史跡根城跡保存管理計画策定
昭和 53 年	発掘調査開始
昭和 56 年	保存管理計画改定
昭和 58 年	史跡根城跡環境整備基本設計書策定
昭和 60 年	第 1 次環境整備事業始まる
平成 元 年	史跡等活用特別事業始まる
平成 3 年	史跡根城跡主殿復原事業始まる(～平成 5 年度)
平成 6 年	史跡根城の広場落成式典(10 月 13 日)、一般開放(10 月 14 日)
平成 11 年	文化課から博物館へ管理替え
平成 23 年	国史跡追加指定
平成 30 年	第 2 次整備基本計画策定
令和 2 年	第 2 次環境整備事業始まる

【施設概要】

1. 規 模	敷地面積 約 130,000 m ² 整備面積 約 30,000 m ² 建築面積 主 殿：544.1 m ² 付属施設：299.1 m ²
2. 構 造	主殿(本陣)：入母屋造 桁葺 (板倉・上馬屋)：切妻造 長板葺
3. 建物設計	財団法人文化財建造物保存技術協会 文化財保存計画協会ほか
4. 建築工事	株式会社東復建設
5. 展示設計	株式会社トータルメディア開発 ・施 工 研究所
6. 事 業 費	5,106,041 千円 用地買い上げ事業費 3,471,014 千円 発掘調査事業費 143,956 千円 環境整備基本計画策定委託費 2,950 千円 本 体 建 築 費 1,488,122 千円

II. 展示

1. 常設展

史跡根城跡は、本丸をはじめ中館、東善寺館などの曲輪からなる北東北を代表する中世城館であり、約18万㎡が史跡指定されている。

史跡根城の広場は、昭和53年度から12年間に及ぶ本丸などの発掘調査とその成果に基づく9年間の復原整備により完成した歴史公園である。指定地のうち、約10万㎡が整備されている。

本丸内には主殿を中心に馬屋、工房、鍛冶公房、板蔵、納屋などの建物が立体復原されているほか、主殿の広間には、正月十一日の儀式(武事始め)の様子が再現されている。

なお、史跡根城の広場は、一般財団法人VISITはちのへが指定管理者として運営している。



史跡根城の広場全景

Ⅲ 教育普及

1. 小中学校団体利用状況

No.	来場日	学校名	人数	No.	来場日	学校名	人数
1	4.26	八戸市立島守小 5, 6 年	12	15	10.18	五戸町立上市川小 3, 4 年	27
2	5.2	八戸市立長者小 3～6 年	284	16	10.18	八戸市立根城小 5 年	74
3	5.2	八戸市立白山台小 3, 4 年	126	17	10.22	八戸市立八戸小 3 年	44
4	5.2	八戸市立西園小 1～6 年	263	18	10.25	八戸市立大久喜小 3・4・6 年	5
5	5.17	八戸市立第二中 1 年	110	19	10.30	八戸市立西白山台小 6 年	115
6	5.29	八戸市立小中野中 1 年	15	20	10.30	階上町立道仏小 6 年	18
7	7.17	階上町立石鉢小 6 年	39	21	11.12	三沢市立三沢小 6 年	67
8	7.17	八戸工業大学第二高等学校附属中 1～3 年	45	22	11.12	八戸市立白鷗小 3 年	46
				23	11.19	新郷村立新郷小 6 年	13
9	9.3	八戸市立根城小 6 年	65	24	11.22	八戸市立桔梗野小 5 年	5
10	9.13	岩手県立盛岡みたけ支援学校小学部 6 年	7	25	11.26	八戸市立根城中 1 年	11
				26	11.29	八戸市立根岸小 3 年	55
11	9.19	八戸市立桔梗野小 3 年	41	27	12.3	八戸市立白銀小 6 年	26
12	9.20	八戸市立鮫小 3, 4 年	84	28	2.18	青森県立八戸第二養護学校中学部 1 年	38
13	9.27	八戸市立柏崎小 6 年	93				
14	10.17	五戸町立上市川小 6 年	17	29	2.19	八戸市立西白山台小 3 年	72
延べ 29 校 1,817 人							

2. 指定管理者自主事業

(1) 根城おもしろ講座

歴史、体験など学習の場として利用者の文化向上、そして施設の利用拡大のため、幅広い層を対象とした学習プログラムを開催。

No.	開催日	講座内容	講師	定員	参加人数
1	4月14日(日)	体験学習 「みんなで俳句を楽しもう」	俳誌「たかな」主宰 吉田千嘉子氏	10人	10
2	6月2日(日)	歴史講演会 「伊達政宗と奥羽再仕置」	仙台市博物館 総括主任 佐々木徹氏	30人	38
3	6月23日(日)	歴史講演会 「蒲生氏郷と奥羽再仕置」	福島県立博物館 副館長 高橋満氏	30人	36

4	6月30日(日)	体験学習講座 「畳コースター作り」	高森畳工店 高森 えりか 氏	10 人	11
5	7月28日(日)	体験学習講座 「三色パステルアート体験」	佐々木 鮎美 氏	10 人	17
6	8月4日(日)	歴史講演会 「九戸城からみた奥羽再仕置」	二戸市教育委員会文化財課 主事 佐藤 由浩 氏	30 人	40
7	8月25日(日)	体験学習講座 「虫 むしGO!」	八戸インセクト研究会 代表 蒔田 増美 氏	15 人	21
8	9月15日(日)	体験学習講座 「染物体験」	根城の広場職員	午前午後 各回 10 人	13
9	12月15日(日)	体験学習講座 「新年を彩るお正月飾り」	根城の広場職員	午前午後 各回 5 人	13
					計 199 人

(2)城の日

期 日：令和6年4月6日(土) 9:00～12:00

目 的：根城が日本100名城に認定されていることのPRとともに、市民や観光客におもてなしをする。

内 容：広場職員が小袖・鎧兜で来場者をお出迎えし、記念品(剪定後のケヤキや桜で作った手作りキーホルダーとペーパースタンド)を贈呈した。

来場者：92人



城の日

(3)さくらWeek!

期 日：令和6年4月12日(金)～21日(日)

内 容：広場内の身延桜の開花時期にあわせ、日本100名城に認定された「根城」を多くの市民に周知し、史跡公園としてのイメージを高めることを目的に令和6年度から開始した。期間中、下記の取り組みを行うとともに、来場者に記念品(マグネットシートで作成した「さくらのしおり」)をプレゼントした。

- ・本丸無料開放
- ・史跡ガイド
- ・中世庶民の装いでお出迎えし、各種チラシ配付
- ・オリジナルグッズ販売(さくら染めハンカチ等)
- ・出店(キッチンカー)

来場者：3,066人

(4) 鎧と小袖で記念撮影

期 日：1. 令和6年5月1日(水)～6日(月・振休)

2. 令和6年11月9日(土)～10日(日) 各日10:00～15:45 ※予約制

内 容：複製鎧・兜の着用と、千葉学園高等学校との連携により制作した中世衣装（小袖・袴など）を着用して記念撮影をし、往時の根城の歴史を感じ、理解を深めてもらう。 ※予約制 1日10組

No.	開催日	参加人数
1	5月1日(水)～6日(月・振休) 各日10:00～15:45	64組203人
2	11月9日(土)～10日(日) 各日10:00～15:45	23組42人

(5) 根城記念祭

期 日：令和6年5月22日(水) 10:00～12:00

主 催：根城史跡保存会

目 的：根城を築城した南部師行公の命日にあわせ、毎年開催されてきた根城記念祭を一般公開し、八戸発祥の地「根城」に対する認識を高める。

内 容：・本丸入場無料
・記念式典 櫛引八幡宮宮司による式典
・記念講演会
演題「八戸湊家文書について」
講師 八戸市博物館 館長 小保内 裕之
・総会

来場者：102人(式典参加者除く)



根城記念祭での式典

(6) 春の収穫祭～梅～収穫体験

期 日：①令和6年6月19日(水) 10:30～11:45

こどもはっち 44人

②令和6年6月20日(木) 11:00～11:40

まほろば幼稚園 46人

内 容：史跡根城跡の発掘調査成果に基づいて植栽しているウメを活用する取り組み。
地元の園児を招待し、当時から薬用などに利用され、今も身近で食べられている梅について収穫を通じて知ってもらう。

自然の恵みに感謝するとともに、根城の歴史に触れ親しんでもらう。



梅収穫の様子

(7)第16回 根城南部杯グラウンド・ゴルフ大会

期 日：令和6年9月30日(月) 8:30～14:00 ※休場日

協 賛：根城南部家第37代当主 南部 光徹氏

後 援：八戸市教育委員会、八戸市グラウンド・ゴルフ協会

目 的：史跡根城の広場を憩いの場として提供し、手軽にプレーできるグラウンド・ゴルフを通じて、心身の健康や出会いの親睦を深めるとともに、史跡公園としての機能充実と活性化を図る。

内 容：旧八戸藩・盛岡藩区域(青森県南・岩手県北周辺)に属するグラウンド・ゴルフ団体(または個人愛好家)が、第15回根城南部杯(第37代当主南部光徹氏より寄贈のカップ)を懸けて競技する。

参加料：1,300円(1人)

参加者：248人

(8)第29回 史跡根城まつり

期 日：令和6年10月12日(土) 9:00～16:00

主 催：史跡根城まつり運営委員会

後 援：八戸市、八戸市教育委員会、根城史跡保存会

内 容：八戸発祥の地「根城」の歴史と郷土に対する認識を深めるとともに、伝統的な文化芸能などに市民に親しんでもらうことを目的に開催している。



史跡根城まつりのイベントの様子

◎本丸会場

- ・本丸無料開放
- ・根城史跡ボランティアガイドによる案内
- ・ミニクイズ検定に挑戦(参加者352人)
- ・根城オリジナルグッズ販売
- ・野点 70枚販売

◎中館会場

- ・開会式
- ・地元小中学生や地域団体による演奏会や民俗芸能などの披露
- ・各種出店

来場者：2,591人(本丸638人)

(9)青森県UIターンフェア2024 ワークショップ・PR(ポスター・パンフレット)設置

期 日：令和6年10月20日(日) 10:00～16:30

会 場：東京交通会館(東京都千代田区)

内 容：県市町村、関係機関が連携し、「暮らし」「仕事」「住まい」などの移住に関する情報を提供する青森県最大の移住イベント。その交流フェアにおいて、史跡根城の広場をPRするため、ワークショップの開催とポスター・リーフレットの設置を行った。

- ・八幡馬アレンジコースワークショップ
- ・根城ポスター・パンフレット設置

来場者：296人(ワークショップ参加者 30人)

(10) イチョウWeek!

期 日：令和6年11月8日(金)～17日(日) 各日9:00～17:00

内 容：本丸内に根城築城当初からあったといわれる大銀杏がある。推定樹齢650年の大木で、八戸市保存樹木第3号に指定されている。史跡根城跡のシンボルといえる大銀杏を多くの市民に親しんでもらうため、無料開放期間を設けている。また期間中、各日先着10人を対象に大銀杏の手作り葉を配付した。

来場者：1,723人

(11) 第9回 お城EXP02024 展示PR(チラシ)設置

期 日：令和6年12月21日(土)～22日(日)

会 場：パシフィコ横浜ノース(神奈川県横浜市)

内 容：「お城EXPO」は、お城EXPO実行委員会が主催する、城郭文化の振興と発展や、お城ファンとの交流を目的に開催される国内最大のお城イベントで、令和6年の入場者数は20,754人だった。全国のお城ファンに広く「根城」を紹介するため、南部武将隊の特別企画の展示PRブースを借り、リーフレットやチラシなどの印刷物を設置した。

- ・根城四つ折りリーフレット 500枚・根城チラシ 500枚

(12) 第15回 史跡根城・えんぶり公演

期 日：令和7年2月18日(火)～19日(水)

各日11:00～12:00

内 容：「八戸えんぶり」会期中に、主殿等を背景にえんぶり公演を開催し、八戸の代表的な民俗芸能に親しんでもらい、根城のPRを図った。

- ・18日 十一日町えんぶり組(どうさいえんぶり) 来場者298人
- ・19日 横町えんぶり組(ながえんぶり) 来場者332人



えんぶりの様子(横町えんぶり組)

(13) ものづくり体験工房

期 日：随時

目 的：「根城」に関わりのある郷土の歴史を体感してもらうことを目的に通年で体験を実施している。事前予約制としているが、できる限り予約不要で受け入れている。

講 師：史跡根城の広場職員

内 容：・八幡馬の絵付けクラシックコース	2,000円	138人
・八幡馬の絵付けアレンジ(デコ)コース	2,500円	66人
・えんぶりミニミニ烏帽子作り	1,000円	30人
	計	234人

3. その他の教育普及活動（八戸市博物館主催事業）

(1) 青森大学共同研究

史跡根城の広場で公開している薬草園のより良い管理・活用を目指し、青森大学薬学部との共同研究を令和3年度から行った。研究期間は3か年であり、期間終了後の令和6年度はその総括として薬草園内の植栽リスト・マップの内容確認を行ったほか、継続的なワークショップの実践を検討するために「七味唐辛子づくり」を開催した。



○ワークショップ「七味唐辛子づくり」

ワークショップ「七味唐辛子づくり」

日 程：令和6年12月15日(日)

講 師：小松 一氏（愛知称徳大学 教授・青森大学 非常勤講師）

中尾 文香氏（千葉大学東洋医学センター墨田漢方研究所 特任研究員・
青森大学 非常勤講師）

参加者：20人(定員20人)

(2) 中世衣装復元制作 with 千葉高2024

史跡根城の広場では、安土桃山時代の建物を復元した本丸主殿内で、中世装束の着用体験を実施している。当初は鎧(大人用1・子ども用2)、小袖と打掛(大人用・上流女性)を用いていたが、安土桃山時代の根城に関する理解をより深めてもらうことを目的に、令和元年度から市内の千葉学園高等学校と連携して復元衣装の制作を行っている。



中世庶民の戦国ファッションショー

令和6年度は、史跡根城の広場にあるフジとイタ

ドリを使って木綿・綿麻の布を染色し、子ども用小袖2着と四幅袴1着を制作した。

なお、制作は同校生活文化科(製作指導：石橋隆子教諭)の御協力により、同科3年生の生徒4名が夏休みを利用して行った。また、制作にあたり、立正大学文学部教授の佐多芳彦氏(専門：有職故実)からの御指導も得た。

完成した衣装は、特別展「境界線上の彼女たち」の併催行事「根城 SHOW TIME」(令和6年10月19日開催)において、これまで制作した衣装を一同に揃えて「中世庶民の戦国ファッションショー」を行い、お披露目した。

○制作内容

- ・小袖 2着(材料：平織りの綿布と麻布、染色：イタドリ(鉄・アルミ媒染))
- ・四幅袴 1着(材料：平織りの麻布、染色：フジ(鉄媒染))

※復元型紙は『時代衣装の縫い方』及び『戦国ファッション図鑑』、『貞丈雑記』を参考に制作した。

IV 資料管理

1. 保存修理

(1) 史跡根城跡環境整備事業

史跡根城跡は、5つの郭と無名の館からなる平城で、建武元年(1334)に南部師行が築城したと伝えられている中世城館である。寛永4年(1627)に遠野(現在の岩手県遠野市)に村替えとなるまでの約300年間、南部氏(八戸家)の居城として使われた。昭和16年12月13日に史跡に指定された。その後の発掘調査の成果に基づいて昭和60年度から環境整備事業に着手、平成6年に「史跡根城の広場」として共用を開始した。当初復原された建物等は、20年以上経過して老朽化や風雨による損傷が著しく、改修及び長寿命化を行い、来場者の安全を確保する必要がある。

また、研究成果の蓄積に伴った展示解説の情報更新をはじめ、多言語化やバリアフリー対応を図り、史跡根城跡のさらなる魅力向上に努める。

平成30年度に「史跡根城跡保存活用計画」が改訂され、令和元年度には「史跡根城跡第二次整備整備基本計画」を策定した。この基本計画に基づき、令和2年度に基本設計、令和3年度に実施設計を策定して環境整備事業を本格化させた。

令和6年度は、①防災設備改修工事(第2期)、②復原建物整備工事、③本丸主殿改修基本設計(第1期)、④地形測量、⑤大銀杏樹勢回復処置、③会議開催等の事業を推進した。令和6年度の関連会議・指導の開催回数は、整備活用検討委員会2回、主殿展示改修ワーキング会議2回、植生管理計画策定ワーキング会議1回、活用ワーキング会議2回、整備に係る現地指導1回である。

① 史跡根城跡本丸防災設備改修工事(第2期)

防災設備改修の第2期工事は、下記の更新などに伴う建築・機械・電気設備の工事を実施した。

- ・ 防火水槽とそれに伴う屋外消火栓ポンプの更新
- ・ 本丸主殿内のパッケージ型消火設備2基の新設
- ・ 本丸敷地内の自動火災報知設備の更新（受信機30回線から40回線への増設・感知器80台の更新）
- ・ 非常用発電機設備設置に伴うスロープ設置

なお、主殿のパッケージ型消火設備及び自動火災報知設備の感知器は、景観に配慮して室内に調和する黒褐色とした。



防火水槽工事状況

② 史跡根城跡復原建物整備工事

復原建物のうち、竪穴建物の納屋を対象に腐朽柱9本の改修及び三和土の改修を実施した。



三和土劣化時の状況



三和土改修後の状況

③ 史跡根城跡本丸主殿改修基本設計(第1期)

史跡根城跡の目玉である本丸主殿の改修に向けた設計。屋根替えや耐震補強などの建築部分、及び活用空間(展示)部分の改修の基本設計を、業務委託により2期にわたって実施する。

第1期は、主殿の現状調査及び伏図・建具図の作成、屋根替え・損傷部等改修・広間及び二之間改修の意匠基本設計を行った。

④ 史跡根城跡地形測量

史跡根城跡第2次環境整備事業に伴う史跡指定地未測地部分の地形等情報取得のための測量。未測地約36,000㎡のうち、倒木が確認され、今後、法面崩壊や近隣住民に対する影響の懸念がある指定地西端の西ノ沢地区(約16,500㎡)を先行して実施した。

⑤ 史跡根城跡整備活用検討委員会

史跡根城跡の適切な保存及び活用の推進を図るため、平成30年から設置。委員は、文化財等の有識者及び根城地区の代表者で構成し、6名を委嘱している。委員の任期は2年としており、委嘱期間は令和6年9月1日から令和8年8月31日まで。

日 時：第1回：令和6年10月4日(金)

第2回：令和7年2月15日(土)

概 要：第1回会議では、令和5年度事業の総括

と令和6年度事業計画の説明を行った。また第2次環境整備事業の現在までの進捗について現地視察を行い、今後の取り組みについて説明した。第2回会議では、令和6年度事業の進捗報告と令和7年度事業計画の説明を行うとともに、整備スケジュールの変更について説明し、承認を得た。



委員委嘱状交付の様子

委員名簿

氏 名	所 属 等	分 野
委 員 長 工藤 竹久	八戸市文化財審議委員	考古学
副委員長 北野 博司	東北芸術工科大学 教授	史跡整備
熊谷 隆次	八戸市文化財審議委員	中世史
倉原 宗孝	岩手県立大学 教授	都市計画
宮野 則彦	日本大学 非常勤講師	木材資源学
野沢 浩司	根城地区連合町内会 会長	地区代表

⑤関連会議

○主殿展示改修検討ワーキング会議

日 時：第1回会議：令和6年9月6日(金)、第2回会議 令和7年2月1日(土)

出席者：小野 正敏 氏（国立歴史民俗博物館名誉教授・考古学）

佐多 芳彦 氏（立正大学文学部教授・有職故実）

工藤 竹久 氏（八戸市文化財審議委員・考古学）※

熊谷 隆次 氏（八戸市文化財審議委員・中世史）※

滝尻 侑貴 氏（八戸市立図書館 主査兼学芸員）

※…史跡根城跡整備活用検討委員会委員

概 要：本丸主殿の活用空間（展示）改修の方針、方法を検討するためのワーキング会議。

第7回会議では改修スケジュール案を提示するとともに、博物館展示リニューアルに伴う展示の住み分けを確認し、主殿各室の空間及び場面の設定について協議した。第8回会議は、再現対象となる天正年間の時代背景について検討するとともに、本丸を

構成する建物及び現在「主殿」と呼称している建物内の部屋の性格と名称について協議した。また、広間の復原展示や、再現する正月十一日の儀式的場面、領主・重臣の席次などについて協議した。

○植生管理計画策定ワーキング会議

日 時：第1回会議：令和7年1月28日(火)

出席者：工藤 竹久氏（八戸市文化財審議委員・考古学）※

北野 博司氏（東北芸術工科大学教授・史跡整備）※

倉原 宗孝氏（岩手県立大学教授・都市計画）※

※…史跡根城跡整備活用検討委員会委員

概 要：史跡内の植生管理や活用計画を策定するためのワーキング会議。第1回目は計画策定に係る管理活用の課題、策定スケジュール、整備履歴、上位計画の確認、作業方針の確認・共有を行った。

○史跡根城跡活用ワーキング会議

日 時：第1回会議：令和6年8月8日(木)、第2回会議：令和6年12月15日(日)

出席者：第1回 工藤 竹久氏（八戸市文化財審議委員・考古学）※

倉原 宗孝氏（岩手県立大学総合政策学部 教授・都市計画）※

島田 直明氏（岩手県立大学総合政策学部 教授・植生学 景観生態学）

馬場 光久氏（北里大学獣医学部 教授・緑地保全学、生薬）

山本 光一氏（NPO 法人青森県福祉サポート協会 理事長・福祉 地域代表）

第2回 小松 一氏（愛知淑徳大学食健康科学部 教授）

中尾 文香氏（千葉大学東洋医学センター墨田漢方研究所 特任研究員）

※…史跡根城跡整備活用検討委員会委員

会議概要：市内の史跡利用団体や関係機関等が集まり、史跡根城跡のさらなる活用について検討するためのワーキング会議を開催している。

令和6年度は「史跡根城の広場薬草園の管理と活用」をテーマに2回の会議を開催した。第1回は、史跡根城の広場内にある薬草園の適切な管理や有効な活用方法について、植物の管理・活用分野の専門家からの事例報告をいただきながら、現地視察及び意見交換を行った。

話題提供：「内藤記念くすり博物館附属薬用植物園の維持管理と活用について」

講 師：亀谷 芳明氏（内藤記念くすり博物館 附属薬用植物園 課長）

第2回も継続して薬草園の活用に係る内容とした。青森大学との薬草園の活用に関する共同研究（活用F参照）が最終年を迎え、薬草園のリスト・マップ案確認と、体験メニューの今後の実践について協議した。

◎本丸大銀杏の樹勢回復に向けた処置

「みんなで大銀杏を元気にしよう！プロジェクト」

史跡根城跡本丸内に築城当初からあったとされる推定樹齢 650 年の大銀杏は、根城のシンボルとして広く市民に知られている。

近年、大銀杏の樹勢の衰弱化が指摘されており、大銀杏をこれからも維持していくため、令和 4 年度に樹勢回復に向けた樹根調査を行い、樹木医より大銀杏が根付く土壌の段階的な改良の必要性と対策方法が提案された。

これに基づき、まずは 3 か年の計画で樹根範囲を対象に土壌改良等の取り組みを行うこととした。令和 5 年度から有機改良剤・活性炭・発根剤を用いた土壌改良を実施し、大銀杏の樹勢の経過を確認している。

また令和 6 年度からは、地域と史跡との関わりを深め、市民に大銀杏を通じて郷土へのさらなる愛着を持ってもらうためことを目的に「みんなで大銀杏を元気にしよう！プロジェクト」として取り組むこととした。

令和 6 年度は、校歌に大銀杏が登場する根城中学校と連携して実施した。参加者は中学生 13 名である。大銀杏の歴史について学芸員が参加者へ解説し、その後、土壌改良作業を行った。終了後は参加者へ記念品（銀杏の葉の葉）を贈呈した。令和 7 年度も継続して取り組む予定。



プロジェクトの様子



回復処置の完了後の様子

V. 根城史跡ボランティア

1. 概要

根城史跡ボランティアガイドグループは、平成8年設立の「根城地域ボランティアセンター」の一組織から、市内初の民間ボランティアとして平成9年に発足した。史跡根城の広場をわかりやすくガイドし、史跡根城跡を広く知ってもらうためのPRが主な活動である。

ボランティア会員は、4月から11月の繁忙期には休場日を除いてボランティアハウスに常駐し、来場者の希望に応じて史跡根城跡や領主の一族である根城南部氏の歴史について解説を行っている。12月から3月までの冬期間は、原則予約制で希望者に対応している。

令和6年度は2,646人をガイドし、通算ガイド実績は136,116人となった。会員は30名(令和7年4月1日現在)。



館外研修
(岩手県北上市二子城)

2. 根城史跡ボランティアガイド養成講座

根城史跡ボランティアガイドグループへの入門講座として、①根城の領主に関する事、②根城跡の発掘調査成果に関する事、③史跡根城の広場のガイド内容に関する事の3回で構成する研修会を博物館主催で開催している。

ボランティア会員は、この養成講座を繰り返し受講しているほか、館外研修(年1回)や自主研修(年3回程度)等でスキルアップを図っている。当館でもガイドグループの各研修において企画提案、バス借上げ、会場提供等で開催協力を行っている。

No.	開催日	内容	講師	対象・定員	参加人数
1	4月13日(土)	根城南部氏の歴代当主	滝尻侑貴学芸員 (八戸市立図書館)	中学生以上・15人	21
2	4月20日(土)	発掘調査からわかった 根城跡	市川健夫学芸員 (当館)	中学生以上・15人	19
3	4月27日(土)	いっしょに歩こう！ 根城跡	市川健夫学芸員 (当館)	中学生以上・15人	19

第三部 南郷歴史民俗資料館

令和6年度は、特別展「こけしーみんななかよしー」を開催した。特別展では当館及び本館所蔵のこけしと、「日本こけし館」(宮城県大崎市)及び「蔵王町伝統産業会館(みやぎ蔵王こけし館)」(宮城県蔵王町)所蔵のこけし等により、東北地方で作られてきた12系統の「伝統こけし」について紹介した。

教育普及活動としては、南郷地区の文化財を巡る館外講座や、あそびを通して親子で文化を学べる「なんごうあそびのひろば」、しめ飾りづくりの体験講座を開催した。

その他、民俗分野の資料寄贈を受けた。

I. 施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和54年12月 建築工事完了
昭和55年10月 「南郷村立歴史民俗資料館」
として開館
平成3年5月 世増地区の民家1棟資料館
隣接地に移築
平成12年4月 収蔵庫増築
平成17年6月 市町村合併により、八戸市博物館
館条例一部改正
名称を「八戸市南郷歴史民俗資料館」とし、八戸市博物館分館
とする
平成26年4月 リニューアルオープン

【施設概要】

1. 規 模	敷 地 面 積	3,597.000 m ²
	建 築 面 積	857.931 m ²
	展示室面積	193.430 m ²
	教育普及設備	35.000 m ²
	収蔵庫面積	281.125 m ²
	延 床 面 積	753.315 m ²
2. 構 造	鉄筋コンクリート造一部2階建	
3. 建物設計	株式会社久慈・一戸建築事務所	
4. 建築工事	東復建設株式会社	
5. 建 設 費		61,522 千円
	設 計 費	1,530 千円
	本体建築費	47,322 千円
	設備工事費	10,879 千円
	そ の 他	1,781 千円

II. 展示

1. 常設展

【戦争と八戸】

本土決戦の想定地であった島守地区に築かれたトーチカを、模型で再現したコーナーを設けるとともに、戦争関係の資料を展示し、戦争と八戸について紹介する。



展示風景

【青い目の人形「メリーちゃん」】

実物の展示と、映像により紹介・解説する。

【昭和の暮らし】

昭和の町並みとしてタバコ屋、玩具屋、本屋（貸本）といった商店を再現し、板塀・トタン塀に設置したフォトフレームに、戦後の八戸の情景を写し出して、なつかしい昭和の暮らしの情景を紹介する。



展示風景

【懐かしの道具】

主に昭和30年～40年代当時の電化製品や日用品を展示し、戦後に大きく変化した生活文化について紹介する。また「昭和40年代の居間」のコーナーには、昔のテレビを活用したモニターを設置して、昭和の南郷地区を紹介するビデオを映写している。

2. 特別展・企画展

特別展「こけし ーみんな なかよしー」

期 間	7月13日(土)～9月1日(日)		
入館者数	404人/46日(9人/日)		
展示資料数	192点		
印刷物	ポスター(B2判/片面カラー)	600枚	
	リーフレット(A4判/両面カラー)	40,000枚	
	招待券(7×19cm/表カラー、裏モノクロ)	600枚	
出展協力	日本こけし館(宮城県大崎市)		
	蔵王町伝統産業会館(みやぎ蔵王こけし館) (宮城県蔵王町)		



「こけし」は、東北地方各地に伝わる郷土玩具である。当初は「木地師(きじし)」とよばれる木工職人が、子どもたちのために作ったものであったが、昭和時代になると工芸品として大人によって収集されるようになった。その後たびたび「こけしブーム」が発生し、「こけし工人」による伝統的なこけしの復元やコレクターなどによる収集活動が隆盛した。本展では、今なお愛好されている「こけし」について、系統など基本的な情報を交えながら、その魅力を伝える趣旨で開催した。



展示風景1

展示品は、現在 12 系統が指定されている「伝統こけし」と、製作に用いた道具類や原木、こけし工人が製作した木地玩具や木地だるま、こけし関係の書籍などである。

会期中の入館者数は、世代別では 40 歳代から 60 歳代が全体の 6 割位で、30 歳代以下は 3 割位であった。家族連れは全体の 6 割位で、お一人は 2 割弱であった。

展示にあたり、当館及び本館所蔵のこけしと木地玩具に加え、宮城県大崎市の「日本こけし館」と、同県蔵王町の「蔵王町伝統産業会館（みやぎ蔵王こけし館）」所蔵のこけしと関係資料を借用した。

日本こけし館からは、三戸町出身の漫画家・絵本作家の馬場のぼる氏が絵付けをしたこけし 5 点を借用し、蔵王町伝統産業会館（みやぎ蔵王こけし館）からは、「飛行機こけし」（遠刈田系こけし工人・佐藤勝洋氏作）2 点を借用し、展示した。

講演会には、福島県福島市の公益財団法人東邦銀行教育・文化財団「原郷のこけし群 西田記念館」の学芸員・相原聡子氏を招き、「こけし入門」を開催した。伝統こけしの成り立ちや発展、各系統の特徴や「こけしブーム」について語っていただいた。

その他の併催事業では、青森県黒石市のこけし工房「tsuN'agaru」（ツナガル）の協力により、「こけし絵付け体験」を開催した。体験では、親子連れや友人同士などの様々な参加者が、津軽系こけし工人・阿保六知秀氏の指導により、無地の体験用こけしに表情や模様を描き、思い思いに楽しまれた様子であった。



展示風景2



展示風景3



展示風景4

◎特別展併催行事

① 講演会「こけし入門」

日 時 7 月 21 日(日) 14 : 00 ~ 15 : 30

講 師 公益財団法人東邦銀行教育・文化財団
原郷のこけし群 西田記念館

学芸員 あいほら さとこ
相原 聡子氏

会 場 八戸市島守コミュニティセンター
2 階会議室



講演会

参加者 8 人

② 「こけし絵付け体験」

日 時 8 月 24 日(土)13:00～16:00

協 力 こけし工房「^{ツナガル}tsuN'agaru」

講 師 津軽系こけし工人
あぼむちひで
阿保六知秀氏

会 場 八戸市島守コミュニティセンター
大ホール

参加者 20 組 37 人

材料費 各組体験用こけし 1 体無料
追加 1 体 1,500 円(当日お支払い)



講師による解説



体験の様子



完成したこけし

③ ギャラリートーク

日 時 7 月 14 日(日)・9 月 1 日(日) 各日 11:00～12:00/14:00～15:00

講 師 下村資料館長

会 場 八戸市南郷歴史民俗資料館 展示室・特別展示室

参加者 延べ17人

ミニコレクション展「そば」

期 間 11 月 30 日(土)～3 月 16 日(日)

前期: 11 月 30 日(土)～1 月 26 日(日)

後期: 1 月 31 日(金)～3 月 16 日(日)

展示一部入替: 1 月 28 日(火)～1 月 30 日(木)

※期間中、特別展示室のみ閉室

昭和 55 年、旧南郷村の郷土資料館として開館した南郷歴史民俗資料館は、南郷地区をはじめ八戸市や近隣市町村にゆかりの民俗



資料を約 1 万点収蔵している。ミニコレクション展では、館蔵資料の中からテーマごとに関連資料を展示している。

令和 6 年度は、そば(蕎麦)をテーマに、広くそばにかかわる資料を紹介した。

Ⅲ. 教育普及

※令和 6 年度の出前授業・講師等派遣は 61 頁の「職員の調査研究活動」を参照

1. 小中学校等団体利用状況

No.	来館日	学校名	人数	内容	職員
1	6.14	八戸市立小中野小学校 3 年生	38	解説・体験	下村館長ほか
2	9.26	八戸市立白銀小学校 3 年生・4 年生	44	解説・体験	下村館長ほか
3	3.11	八戸市立島守小学校 3 年生・4 年生	11	解説・体験	下村館長ほか
延べ 3 校 93 人					

2. 催事運営

(1) 民俗講座

No.	開催日	講座内容	講師	定員	参加人数
1	5 月 10 日(金)	南郷一周めぐり	下村館長・古里学芸員	10 人	10 人
2	6 月 7 日(金)	南郷わき水めぐり	下村館長・古里学芸員	10 人	10 人
3	9 月 13 日(金)	島守四十八社めぐり	下村館長・古里学芸員	10 人	10 人
4	11 月 15 日(金)	南郷文化財めぐり	下村館長・古里学芸員	10 人	9 人
5	12 月 8 日(日)	しめ飾りづくり	下村館長・古里学芸員	10 人	10 人
延べ 49 人参加					

(2) なんごうあそびのひろば 場所：島守コミュニティセンター

No.	開催日	講座内容	講師（全て外部講師）	対象定員	参加者
1	5 月 19 日(日)	南部菱刺しのお手玉づくり	いちゃりば・おはな 松川 美紀子氏	親子 10 組	1 組(4 人)
2	6 月 16 日(日)	親子でけん玉教室	エイトスパイクス 鹿糠 駿平氏	親子 10 組	2 組(4 人)
3	9 月 28 日(土)	秋の色を楽しむ パステルアート	Feel 浅川 ふさこ氏	親子 10 組	4 組(7 人)
4	11 月 24 日(日)	親子で作るスノードーム	Lien 長塚 佳子氏	親子 10 組	7 組(15 人)
延べ 14 組 30 人参加					

Ⅳ. 資料管理

1. 部門別収蔵資料点数（令和7年3月31日現在）

部門	考古	歴史	民俗	総点数
令和6年度	0	0	211	211
総点数	1,822	5,905	11,280	19,007

2. 寄贈資料

資料名	点数	寄贈者（敬称略）	寄贈年月日
《民俗資料》			
レコード、ヘッドホン	26	久保中 昭博	八戸市 6.7.7
捕鯨船模型	1	茶立場 リサ子	八戸市 6.9.12
こけし一式	76	須田 眞弓	八戸市 6.9.22
大工道具一式	86	住澤 勉	八戸市 6.10.1
戦争体験記、軍服、関係資料	22	大畑 すみ	八戸市 6.10.23
	211		

3. 資料の利用状況

（1）写真資料利用（映像・図版含む）

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	許可日	利用先
1	(株)インテンション	スクリムショー (鯨のヒゲに虎の絵を彫刻)	1	『日刊水産経済新聞』より転載	6.5.10	Web サイト 「くじらタウン」
2	九州歴史資料館	松石橋遺跡出土 「遠賀川式土器」 荒谷遺跡出土 「挟入柱状片刃石斧」	2	画像を借用、利用	6.11.9	企画展「遠賀川式土器と弥生文化の広がり」
3	八戸市小学校 社会科教育研究会	電灯、囲炉裏、 洗濯板、たらい	4	撮影した画像の利用	7.2.18	小学校社会科副読本 3年生用に掲載
4	三内丸山遺跡センター	黄檗遺跡出土 「爪形文土器」	2	画像を借用、利用	7.3.4	特別展「縄文時代のはじまり」
5	サイネット(株)	荒谷遺跡出土 「挟入柱状片刃石斧」	1	著者が撮影した画像の利用	7.3.12	教科書 『新詳 日本史探究』 (仮称) 帝国書院

(2) 実物資料

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	期間
1	介護老人保健施設 はくじゅ	回想法貸出セット 冬の暮らし・夏の暮らし	2	回想法	6.9.14～6.9.28
2	八戸市小学校社会科 教育研究会	古民家(民具)	1	撮影	6.10.6

(3) 資料調査ほか

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	利用日	利用先
1	個人	黄檗遺跡出土 「爪形文土器」	一式	観察・写真撮影・ 試料採取	6.7.11	研究
2	三内丸山遺跡セン ター	黄檗遺跡出土 「爪形文土器」	2	実見・写真撮影	6.11.29	企画展に伴う 資料調査
3	個人	荒谷遺跡出土 「抉入柱状片刃石斧」 ほか	9	実見・実測・計測 ・写真撮影	6.12.12	研究

V. 調査研究

1. 調査実績

資料館活動の基礎となる資料充実や展覧会準備のため、日常的に調査研究活動を行っている。主な調査実績は以下のとおり。

No.	日程	調査内容	調査地	職員
1	6.9.22	寄贈に係る資料調査(こけし)	八戸市鮫町	下村館長

2. 職員の調査研究活動

下村 恒彦（館長・民俗学）

【研究発表・講座・講演など】

- ・講座「南郷の伝承と伝説」『根岸公民館歴史講座』於根岸公民館

（令和6年12月19日）

- ・講演「青い目の人形メリーちゃんのお話」『メリーちゃんとのひな祭り会』於島守小学校

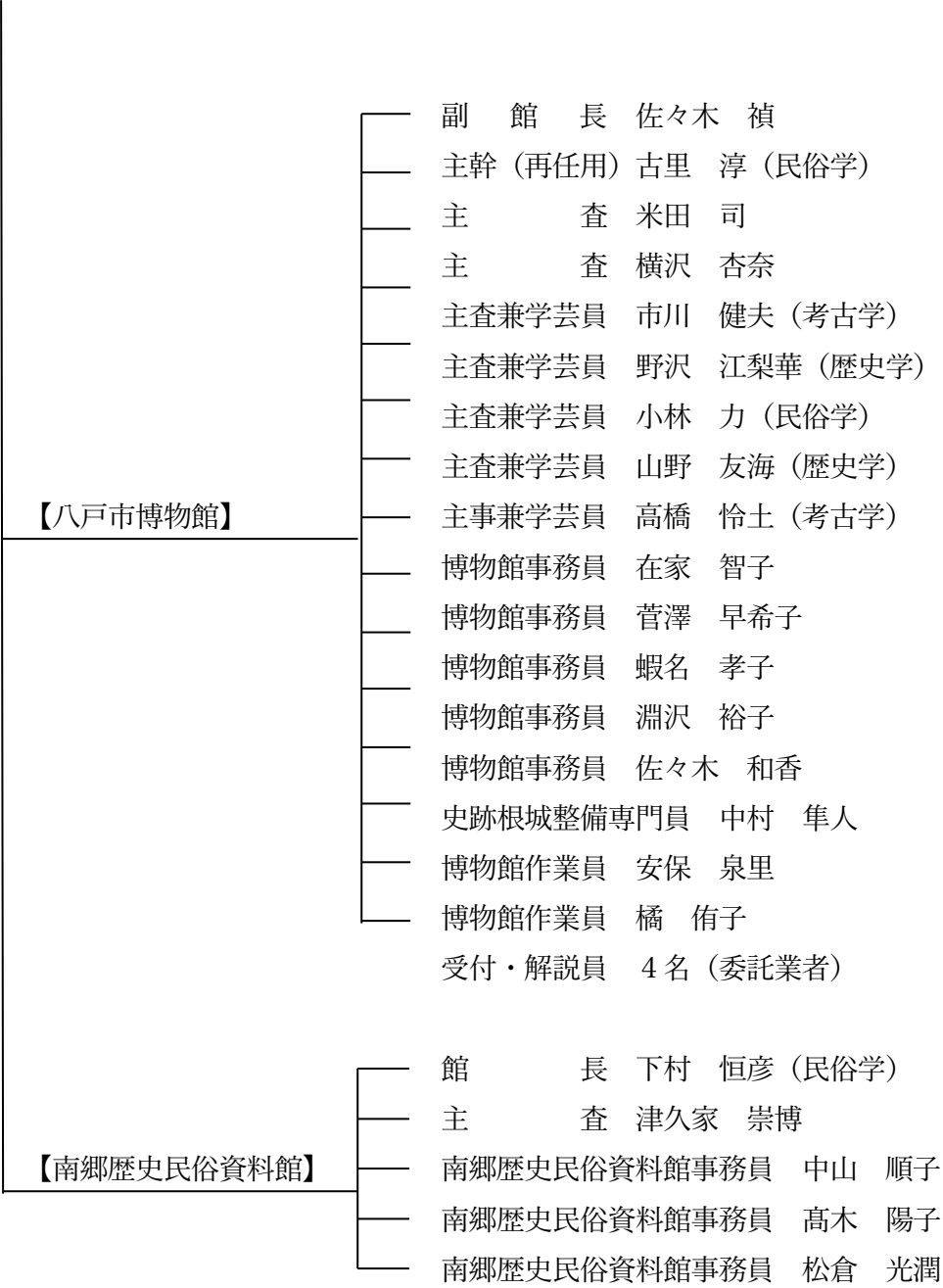
（令和7年3月3日）

第四部
 運営・資料

I.
 運営

1.
 博物館組織及び職員構成

館長
 小保内 裕之（考古学）



※令和6年4月1日現在

令和6年度	採用 (R6.5.16)	南郷歴史民俗資料館	事務員	福田 敏子
	採用 (R6.6.1)	八戸市博物館	事務員	尾形 美翔
令和7年度	採用 (R7.4.1)	八戸市博物館	主事兼学芸員	渡會 紬（民俗学）

転入（R7.4.1） 八戸市博物館 事務員 玉川 順子
 南郷歴史民俗資料館 事務員 村上 由香理
 退職（R7.3.31） 古里 淳、山野 友海、在家 智子、菅澤 早希子（博物館）
 中山 順子（南郷）

2. 博物館協議会

【第1回】

日 時：令和6年7月2日(火) 14:00～16:00
 場 所：八戸市博物館 体験学習室
 案 件：令和5年度事業実施報告について・令和6年度事業計画について
 その他

【第2回】

日 時：令和7年2月13日(木) 14:00～16:00
 会 場：八戸市博物館 体験学習室
 案 件：令和6年度事業実施報告について・令和7年度事業計画について
 その他

【博物館協議会委員名簿】（任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日）

氏 名	所 属 等
会 長 工藤 竹久	元八戸市博物館 館長
副会長 滝尻 善英	青森県文化財保護協会 会長
有馬 克美	元青森県立郷土館協議会 委員
元沢 弘志	根城史跡ボランティアガイドグループ 代表
鳥谷部 隆雄	デーリー東北新聞社 論説委員長
平間 恵美	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事
工藤 由貴子	駒沢幼稚園 園長
新山 聡	八戸市立是川小学校 校長
高橋 英臣	八戸市立島守中学校 校長

3. 予算の概要

【博物館】※正職員人件費は含まない

予算内容		予算額 (千円)	比率 (%)	備 考
運営経費		48,685	42.5	
内 訳	一般管理事務	29,767	26.0	会計年度任用職員報酬・謝礼・委託料・需用費
	施設維持管理	18,918	16.5	修繕料・委託料
展示活動経費		65,934	57.5	
内 訳	各種展覧会体験講座等	17,137	15.0	特別展、企画展経費・体験学習開催経費
	文化財収集・保存・調査	35,921	31.3	会計年度任用職員報酬・収蔵資料修復・委託料
	指定・認定文化財保存活用	12,876	11.2	会計年度任用職員報酬・委託料
計		114,619	100.0	

【根城の広場】

予算内容		予算額 (千円)	比率 (%)	備 考
管理運営経費		115,272	100.0	
内 訳	環境整備	64,164	55.7	委託料・環境整備工事
	施設維持管理	50,777	44.0	修繕料・指定管理料
	一般管理費	331	0.3	需用費
計		115,272	100.0	

【南郷歴史民俗資料館】※正職員人件費は含まない

予算内容		予算額 (千円)	比率 (%)	備 考
運営経費		33,677	78.0	
内 訳	一般管理事務	8,582	19.9	会計年度任用職員報酬・需用費・役務費
	施設維持管理	25,095	58.1	修繕料・委託料・工事請負費
展示活動経費		9,472	22.0	
内 訳	各種展覧会体験講座等	4,255	9.9	特別展、企画展経費・体験学習開催経費
	文化財収集・保存・調査	5,217	12.1	委託料
計		43,149	100.0	

Ⅱ．資料

1．入館者利用状況

【博物館】

月	博物館単独券						共通券						割引券		免除	市内 小中	市外 小中	入館者 総数	開館 日数	平均 入館者	前年度入 館者
	個人			団体			個人			団体			高齢者 障がい者	その他							
月	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計									
4月	339	2	341	0	0	0	296	6	302	50	0	50	90	6	147	50	31	1,017	27	37.7	1,078
5月	277	5	282	0	0	0	679	16	695	69	0	69	76	9	436	362	44	1,973	27	73.1	1,759
6月	215	1	216	0	0	0	559	15	574	40	0	40	78	35	143	23	33	1,142	27	42.3	948
7月	381	24	405	36	0	36	540	24	564	0	0	0	142	7	408	83	77	1,722	27	63.8	2,027
8月	690	73	763	0	0	0	771	55	826	0	0	0	256	12	312	107	175	2,451	29	84.5	3,407
9月	621	21	642	0	0	0	675	23	698	0	0	0	361	27	495	296	31	2,550	26	98.1	1,457
10月	285	8	293	21	0	21	610	6	616	64	0	64	161	22	1,140	146	73	2,536	28	90.6	2,267
11月	429	27	456	30	0	30	257	9	266	0	0	0	253	19	845	251	158	2,278	26	87.6	1,750
12月	130	11	141	0	0	0	158	4	162	0	0	0	29	9	111	44	51	547	23	23.8	398
1月	172	8	180	156	0	156	155	8	163	0	0	0	58	10	132	75	6	780	24	32.5	766
2月	354	19	373	23	0	23	371	14	385	0	0	0	130	15	274	216	67	1,483	25	59.3	1,733
3月	309	23	332	0	0	0	329	28	357	0	0	0	208	12	239	97	51	1,296	26	49.8	1,122
計	4,202	222	4,424	266	0	266	5,400	208	5,608	223	0	223	1,842	183	4,682	1,750	797	19,775	315	62.8	18,712

【根城の広場】

月	根城の広場単独券						共通券						割引券		免除	市内小 中	市外小 中	入場者 総数	開場 日数	平均 入場者	前年度入 場者
	個人			団体			個人			団体			高齢者 障がい者	その他							
月	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計									
4月	453	5	458	47	0	47	277	9	286	50	0	50	97	8	3,116	35	28	4,125	27	152.8	2,028
5月	761	31	792	41	0	41	641	20	661	69	0	69	81	19	279	339	85	2,366	27	87.6	2,234
6月	553	7	560	64	0	64	522	19	541	40	0	40	54	69	234	6	12	1,580	27	58.5	1,325
7月	512	15	527	20	0	20	515	27	542	0	0	0	33	21	85	54	86	1,368	27	50.7	1,470
8月	755	36	791	22	0	22	713	74	787	0	0	0	61	17	205	36	200	2,119	29	73.1	2,038
9月	565	23	588	0	0	0	626	29	655	0	0	0	46	43	207	234	31	1,804	26	69.4	1,620
10月	605	3	608	0	0	0	570	7	577	64	0	64	69	31	2,717	127	78	4,271	28	152.5	8,272
11月	223	5	228	24	0	24	242	13	255	0	0	0	27	14	2,012	19	24	2,603	26	100.1	1,694
12月	92	1	93	0	0	0	148	9	157	0	0	0	0	10	43	24	7	334	23	14.5	346
1月	90	7	97	0	0	0	141	14	155	0	0	0	6	14	36	4	9	321	24	13.4	309
2月	316	21	337	0	0	0	350	18	368	0	0	0	120	21	167	103	19	1,135	25	45.4	1,631
3月	228	25	253	0	0	0	308	35	343	0	0	0	34	17	97	23	29	796	26	30.6	730
計	5,153	179	5,332	218	0	218	5,053	274	5,327	223	0	223	628	284	9,198	1,004	608	22,822	315	72.5	23,697

【南郷歴史民俗資料館】

月	個人			団体			割引券		免除	市内小中	市外小中	入場者総 数	開場日数	平均 入場者	前年度入 場者
	一般	大・高	計	一般	大・高	計	高齢者 障がい者	その他							
4月	31	0	31	0	0	0	5	0	7	4	1	48	27	1.8	22
5月	60	1	61	0	0	0	9	1	26	1	7	105	27	3.9	87
6月	36	3	39	29	0	29	8	0	23	41	2	142	27	5.3	104
7月	61	3	64	0	0	0	16	0	40	10	2	132	23	5.7	237
8月	108	8	116	0	0	0	30	0	100	20	8	274	29	9.4	516
9月	29	0	29	0	0	0	10	0	31	44	3	117	18	6.5	135
10月	32	0	32	0	0	0	41	0	61	4	0	138	28	4.9	149
11月	24	11	35	0	0	0	8	0	42	4	2	91	26	3.5	13
12月	15	2	17	0	0	0	4	0	15	0	0	36	23	1.6	10
1月	16	0	16	0	0	0	2	0	4	4	0	26	24	1.1	0
2月	25	2	27	0	0	0	8	0	4	3	1	43	25	1.7	0
3月	30	0	30	0	0	0	6	0	25	15	1	77	26	3.0	0
計	467	30	497	29	0	29	147	1	378	150	27	1,229	303	4.1	1,273

【開館時から年度ごとの累計（入館者数）】（単位：人）

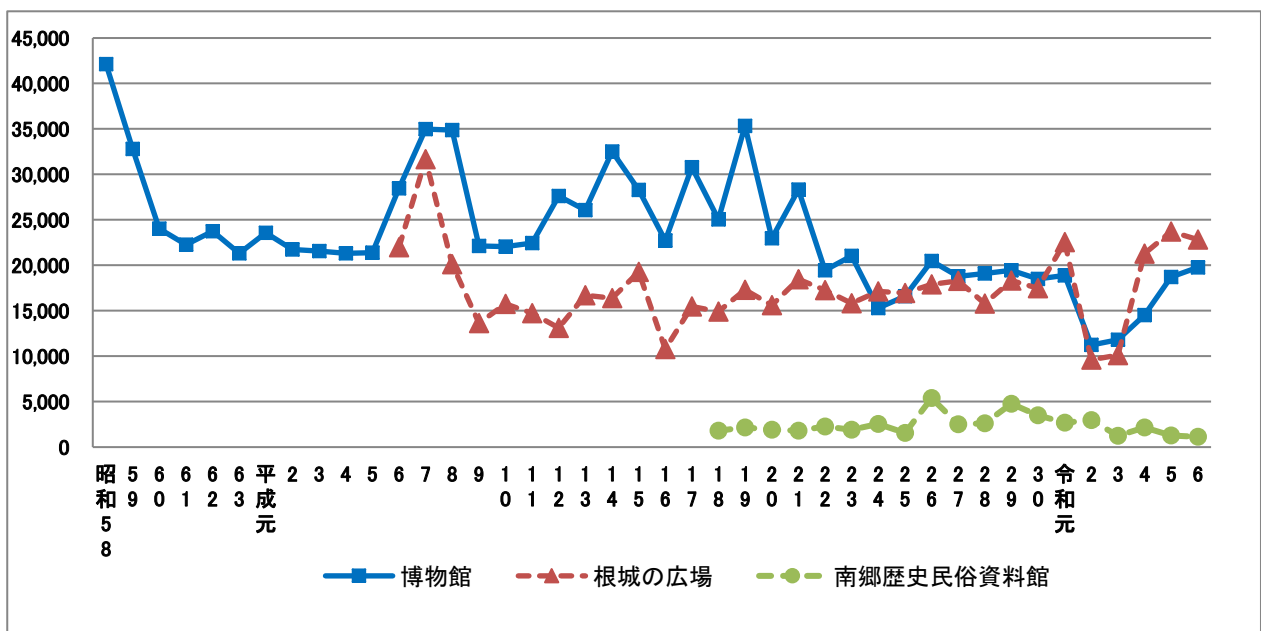
年 度	博物館	根城の広場	年 計
昭和	42,113		42,113
59	32,807		32,807
60	24,019		24,019
61	22,282		22,282
62	23,728		23,728
63	21,311		21,311
平成元	23,579		23,579
2	21,726		21,726
3	21,551		21,551
4	21,310		21,310
5	21,373		21,373
6	28,456	21,984	50,440
7	34,991	31,664	66,655
8	34,870	20,130	55,000
9	22,130	13,636	35,766
10	22,042	15,757	37,799
11	22,450	14,718	37,168
12	27,610	13,096	40,706
13	26,064	16,686	42,750
14	32,504	16,394	48,898
15	28,299	19,276	47,575
16	22,726	10,787	33,513
17	30,780	15,474	46,254

年 度	博物館	根城の広場	南 郷 歴 史 民 俗 資 料 館	年 計
18	25,050	14,922	1,820	41,792
19	35,332	17,291	2,169	54,792
20	22,976	15,625	1,896	40,497
21	28,327	18,452	1,824	48,603
22	19,447	17,265	2,269	38,981
23	21,027	15,821	1,930	38,778
24	15,310	17,117	2,547	34,974
25	16,602	16,944	1,557	35,103
26	20,478	17,901	5,387	43,766
27	18,771	18,273	2,496	39,540
28	19,100	15,780	2,603	37,483
29	19,461	18,309	4,769	42,539
30	18,486	17,469	3,496	39,451
令和元	18,894	22,563	2,681	44,138
2	11,230	9,608	2,960	23,798
3	11,818	10,115	1,229	23,162
4	14,520	21,296	2,164	37,980
5	18,712	23,697	1,273	43,682
6	19,775	22,822	1,129	43,726
合 計	984,037	540,872	46,199	1,571,108

※博物館は昭和 58 年 7 月開館

※史跡根城の広場は平成 6 年 10 月開場

※南郷歴史民俗資料館は昭和 55 年南郷村立で開館



2. 条例

〇八戸市博物館条例（昭和58年3月30日条例第4号）

（この条例の趣旨）

第1条 この条例は、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、博物館を設置し、その管理について必要な事項を定めるものとする。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

（1）名称 八戸市博物館

（2）位置 八戸市大字根城字東構35番地1

2 八戸市博物館に分館を置き、その名称及び位置は、次のとおりとする。

（1）名称 八戸市南郷歴史民俗資料館

（2）位置 八戸市南郷大字島守字小山田7番地1

3 八戸市南郷歴史民俗資料館の附属施設として、南郷民具展示館を置く。

4 八戸市博物館の野外学習の場として、八戸市大字根城字根城47番地に八戸市史跡根城の広場を設ける。

（指定管理者による管理）

第3条 八戸市史跡根城の広場（以下「根城の広場」という。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第4条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

（1）根城の広場で行う事業の企画及び実施に関する業務

（2）根城の広場の施設、設備等の維持管理に関する業務

（3）その他八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める業務

（指定管理者が行う管理の基準）

第5条 指定管理者は、法令、条例、条例に基づく規則その他教育委員会が定めるところに従い、根城の広場の管理を行わなければならない。

（入館料等）

第6条 八戸市博物館及び八戸市南郷歴史民俗資料館の入館料並びに根城の広場の本丸（別表において「根城本丸」という。）の入場料は、別表のとおりとする。ただし、特別な資料を展示する場合の入館料は、教育委員会が別に定めることができる。

2 前項に規定する入館料及び入場料（以下「入館料等」という。）は前納しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（入館料等の還付）

第7条 既納の入館料等は、還付しない。ただし、災害その他不可抗力により観覧できなくなったとき、その他教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館料等の減免）

第8条 教育委員会は、公益上必要があると認められるとき、その他特別の理由があると認めるときは、その申請により入館料等を減免することができる。

（利用の拒否等）

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、その利用を拒否し、現に行っている利用の中止を命じ、又はその他の必要な措置をとることができる。

（1）感染性疾患があると認められる者

（2）他の利用者の迷惑となり、又は公益を害するおそれがあると認められる者

（3）係員の指示に従わない者

（4）その他管理上利用を不相当と認める者（損害賠償）

第10条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び根城の広場（以下「博物館等」という。）の施設、設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害の賠償をしなければならない。

（博物館協議会）

第11条 博物館等の円滑な運営を図るため、八戸市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、15人以内とする。
- 3 協議会の委員は、学校教育若しくは社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者又は学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 協議会の運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

（史跡根城跡整備活用検討委員会）

第12条 史跡根城跡の適切な保存及び活用の推進を図るため、八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、史跡根城跡の整備に関する計画の策定及び事業の推進に関し必要な事項について調査及び検討をし、教育委員会に対して意見を述べるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、委員会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

（委任事項）

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則（令和5年3月24日条例第16号）この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表（第6号関係）

入館料及び入場料

区分		個人	20人以上の団体 （1人につき）
八戸市博物館	一般	円 250	円 130
	大学生・高校生	150	80
八戸市南郷歴史民俗資料館	一般	150	100
	大学生・高校生	100	50
根城本丸	一般	250	130
	大学生・高校生	150	80

備考

- 1 中学生以下の者は、無料とする。
- 2 共通券により八戸市博物館及び根城本丸に入館し、及び入場しようとする者（個人に限る。）の入館料の合計額は、一般400円及び大学生・高校生240円とする。

○八戸市博物館条例施行規則（昭和 61 年 11 月 5 日教育委員会規則第 13 号）

（この規則の趣旨）

第 1 条 この規則は、八戸市博物館条例（昭和 58 年八戸市条例第 4 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（開館時間及び開場時間）

第 2 条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び八戸市史跡根城の広場の本丸（以下「根城本丸」という。）の開館時間又は開場時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要があると認めるときは、開館時間及び開場時間を変更することができる。ただし、根城本丸にあっては、指定管理者（条例第 3 条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開場時間を変更することができる。

（休館日及び休場日）

第 3 条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び根城本丸（以下「博物館等」という。）の休館日又は休場日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館し、若しくは休場することができる。

（1）月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日にあたるときは、その翌日）

（2）国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

（3）12 月 27 日から翌年 1 月 4 日まで

2 前項の規定にかかわらず、根城本丸にあっては、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休場日に開場し、又は臨時に休場日以外の日に開場しないことができる。

（入館料及び入場料の納付）

第 4 条 博物館等の展示資料を観覧しようとする者は、入館券又は入場券の交付を受ける際に入

館料又は入場料（以下「入館料等」という。）を納付しなければならない。

（入館料等の還付）

第 5 条 災害その他不可抗力により展示資料の観覧ができなくなったときは、条例第 7 条ただし書の規定により、既納の入館料等の全額を還付する。

2 入館料等の還付を受けようとする者は、入館料等還付申請書（別記第 1 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の申請により入館料等の還付を決定したときは、入館料等還付決定通知書（別記第 2 号様式）により当該申請者に通知する。

（入館料等の減免）

第 6 条 条例第 8 条の規定により減免する入館料等の額は、次のとおりとする。

（1） 当市が主催する行事に使用するとき 入館料等の全額

（2） 特別支援学校の高等部が教育課程に基づく学習のため団体で入館し、又は入場するとき入館料等の全額

（3） 身体障害者手帳、愛護手帳、療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者（当該交付を受けている者に介護人がある場合にあつては、介護人 1 人を含む。）が入館し、又は入場するとき入館料等の 5 割に相当する額（当該相当する額に 10 円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）

（4） 市内に住所を有する 65 歳以上の者が入館し、又は入場するとき 入館料等の 5 割に相当する額（当該相当する額に 10 円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）

（5） 当市が発行する八戸ウェルカムチケットの提出を受けたとき 入館料等の全額

（6） 当市が実施する公共交通活用型企画乗車

券事業に係る博物館・史跡根城の広場バスパック施設入館料等割引券の提出を受けたとき 入館料等の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）

- (7) その他教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める額
(減免の申請)

第7条 入館料等の減免を受けようとする者は、入館料等減免申請書（別記第3号様式）を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前条第3号から第6号までの規定により減免を受けようとする者については、この限りでない。

2 教育委員会は、前項の申請により入館料等の減免を決定したときは、入館料等減免決定通知書（別記第4号様式）により当該申請者に通知する。

(行為の禁止)

第8条 八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び八戸市史跡根城の広場（以下この条において「八戸市博物館等」という。）においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 八戸市博物館等の設備等を損傷し、又は滅失すること。
- (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる行為をし、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物の類を携帯すること。
- (3) 許可なくして展示資料等の写真撮影又は拓本複写等の行為をすること。
- (4) 許可なくして物品の販売、宣伝その他営利行為をすること。
- (5) 許可なくして印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示すること。
- (6) 八戸市博物館等の施設及び敷地内において喫煙すること。
- (7) 所定の場所以外において火気を使用すること。

(8) その他八戸市博物館等の管理に支障がある行為

2 前項第3号の許可を受けようとする者は、資料特別利用許可申請書（別記第5号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の申請書を受理した場合において、これを許可したときは、当該申請者に資料特別利用許可書（別記第6号様式）を交付する。

(資料の寄託)

第9条 博物館等に資料の寄託をしようとする者は、当該資料に資料寄託申請書（別記第7号様式）を添えて教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の申請書を受理した場合において、資料の寄託を受けることを決定したときは、当該申請者に資料受託書（別記第8号様式）を交付する。

(寄託資料の免責)

第10条 教育委員会は、寄託を受けた資料が災害その他の不可抗力によって損害を受けた場合にあっては、その賠償の責めを負わない。

(委任事項)

第11条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が定める。

附 則（令和5年3月29日教委規則第3号）この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別記

第1号様式（第5条関係）省略

第2号様式（第5条関係）省略

第3号様式（第7条関係）省略

第4号様式（第7条関係）省略

第5号様式（第8条関係）省略

第6号様式（第8条関係）省略

第7号様式（第9条関係）省略

第8号様式（第9条関係）省略

○八戸市博物館協議会規則（昭和58年3月31日教育委員会規則第8号）

(趣旨)

第1条 この規則は、八戸市博物館条例(昭和58年八戸市条例第4号)第11条第5項の規定に基づき、八戸市博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営について必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会には、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。ただし、

新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき協議会の会長の職務は、教育長が行う。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(資料の提出の要求等)

第4条 協議会は、必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(その他の事項)

第5条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則(平成24年3月29日教委規則第3号) この規則は、平成24年4月1日から施行する。

○八戸市博物館組織等規則（昭和58年3月31日教育委員会規則第7号）

（この規則の趣旨）

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

第33条第1項の規定に基づき、八戸市博物館（以下「博物館」という。）の組織等について必要な事項を定めるものとする。

（分掌事務）

第2条 博物館は、おおむね次に掲げる事務を分掌する。

- （1）博物館の管理に関すること。
- （2）八戸市南郷歴史民俗資料館の管理に関すること。
- （3）博物館事業に関すること。
- （4）博物館協議会に関すること。
- （5）史跡根城の広場に関すること。
- （6）その他庶務一般に関すること。

（職制）

第3条 博物館に館長その他必要な職員を置く。

2 博物館には、前項のほか、副館長、南郷歴史民俗資料館館長、参事、副参事、主幹、主査、主事その他の職員を置くことができる。

（職務）

第4条 館長は、上司の命を受けて博物館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 副館長は、上司の命を受けて館長を補佐し、当該職員を指揮監督する。

3 南郷歴史民俗資料館館長（以下「分館長」という。）は、上司の命を受けて南郷歴史民俗資料館の業務を掌理し、当該職員を指揮監督する。

4 参事、副参事及び主幹は、上司の命を受けて博物館の事務に関する特定の事務に従事し、当該職員を指揮監督する。

5 主査は、上司の命を受けて当該分掌事務に

従事し、当該職員を指揮監督する。

6 主事その他の職員は、上司の命を受けて当該事務に従事する。

（事務の代決又は代行）

第5条 館長、副館長及び分館長が出張その他の理由により不在であるときは、当該上席の職員がその事務を代決又は代行することができる。

（館長の専決事務）

第6条 館長は、次に掲げる事務を専決することができる。

（1）八戸市博物館条例（昭和58年八戸市条例第4号）第9条（利用の拒否等）及び八戸市博物館条例施行規則（昭和61年八戸市教育委員会規則第13号）第8条（行為の禁止）第3項の規定に基づく博物館の管理に関する事務を行うこと。

（2）八戸市教育委員会事務取扱規程（昭和39年八戸市教育委員会訓令第1号）第6条（課長の専決事務）各号に掲げる事務を行うこと。

第7条 削除

（分館長の専決事務）

第8条 分館長は、八戸市博物館条例第9条（利用の拒否等）及び八戸市博物館条例施行規則第8条（行為の禁止）第3項の規定に基づく所管の分館の管理に関する事務を専決することができる。

（事務の取扱い）

第9条 事務の取扱いについては、この規則に定めるもののほか、八戸市教育委員会事務局の事務取扱いの例による。

附 則（令和6年3月29日教委規則第10号）この規則は、令和6年4月1日から施行する。

八戸市博物館年報 第 42 号 令和 6 年度

令和 7 年 6 月 20 日

編集・発行 八戸市博物館

〒039-1166 青森県八戸市大字根城字東構 35-1

TEL (0178)44-8111 FAX (0178)24-4557